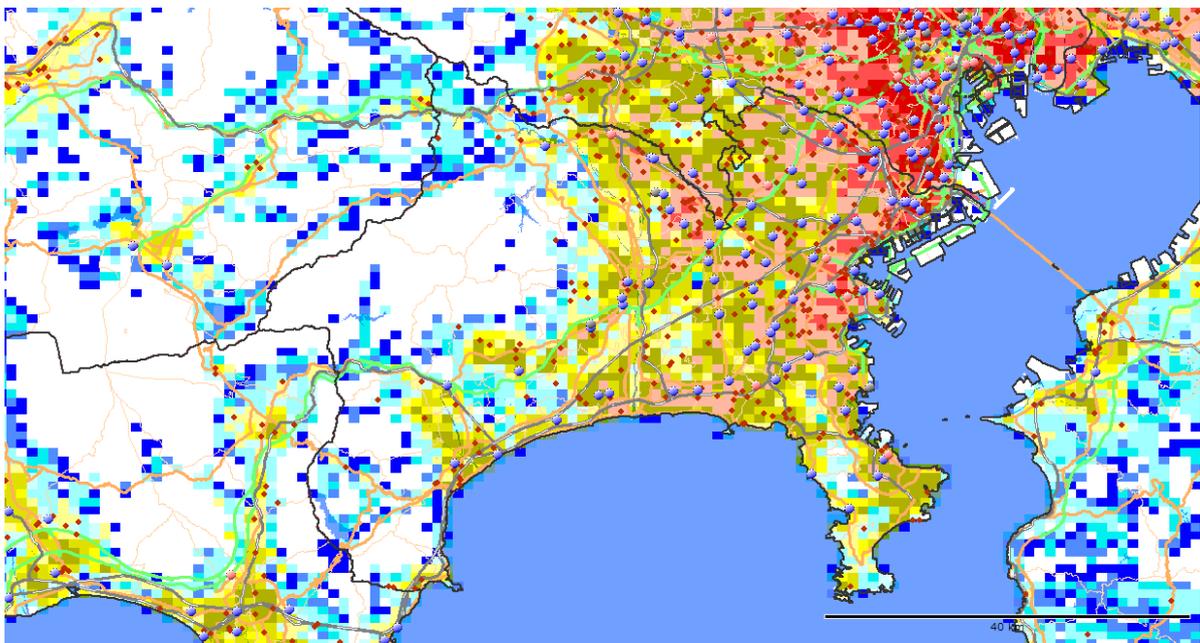


目次

神奈川県	14	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	14	-	8
1. 横浜北部医療圏	14	-	26
2. 横浜西部医療圏	14	-	31
3. 横浜南部医療圏	14	-	36
4. 川崎北部医療圏	14	-	41
5. 川崎南部医療圏	14	-	46
6. 横須賀・三浦医療圏	14	-	51
7. 湘南東部医療圏	14	-	56
8. 湘南西部医療圏	14	-	61
9. 県央医療圏	14	-	66
10. 相模原医療圏	14	-	71
11. 県西医療圏	14	-	76

14. 神奈川県

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(神奈川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 神奈川県は、総人口約9,126千人(2015年)、面積2,416km²、人口密度は3,778人/km²である。

*人口の将来予測： 神奈川県の総人口は2025年に9,070千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に8,541千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の993千人が、2025年にかけて1,467千人へと増加し(2015年比+48%)、2040年には1,555千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 神奈川県の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値46)、介護給付費は238千円(偏差値45)であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 神奈川県の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.5で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 神奈川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、118,211人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が56,630床(偏差値46)、高齢者住宅等が61,581床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、80,260人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム69、軽費ホーム47、グループホーム50、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、12,853人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

神奈川県の総人口は、2005年8,791,597人が、2015年に9,126,214人と4%増加し、2025年の人口が9,069,562人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

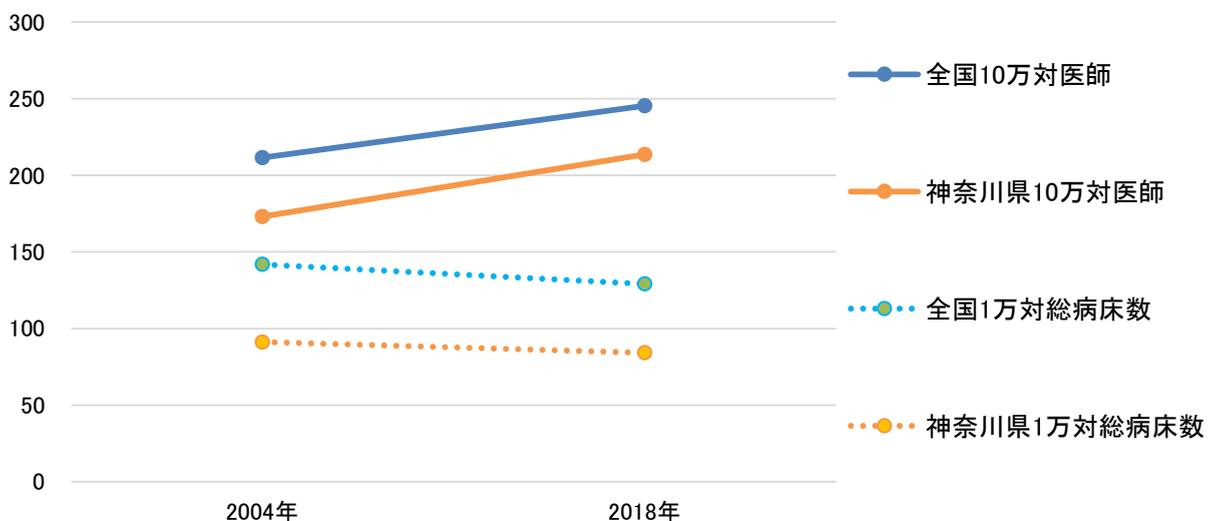
2004年の病院数が357(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2018年に340(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で17病院が減少した。

2004年の診療所数が5,977(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に6,739(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、762診療所が増加した。

2004年の総病床数が80,171床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に76,843床(人口1万人当たり84(全国平均129)偏差値42)と、3,328床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が15,209人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に19,492人(人口10万人当たり214人(全国平均245人)偏差値47)と、4,283人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

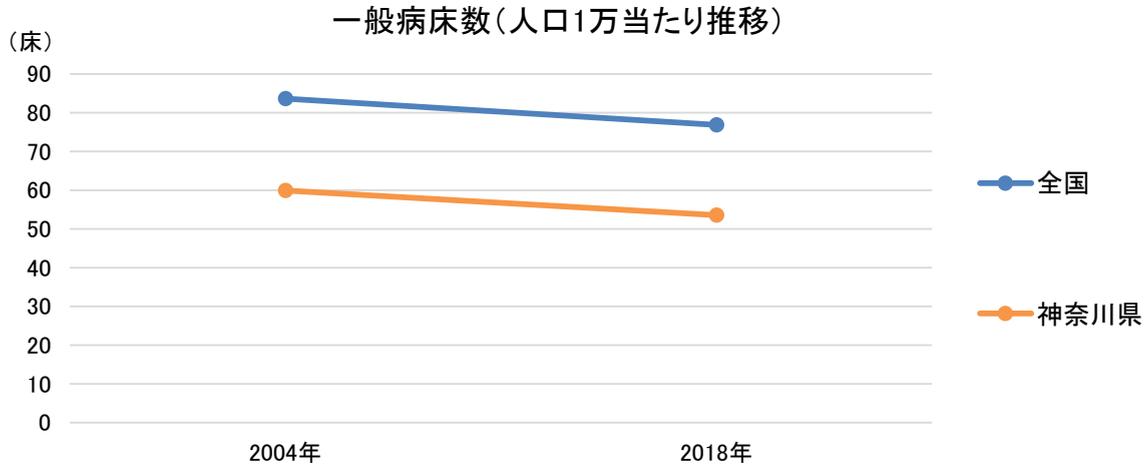
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

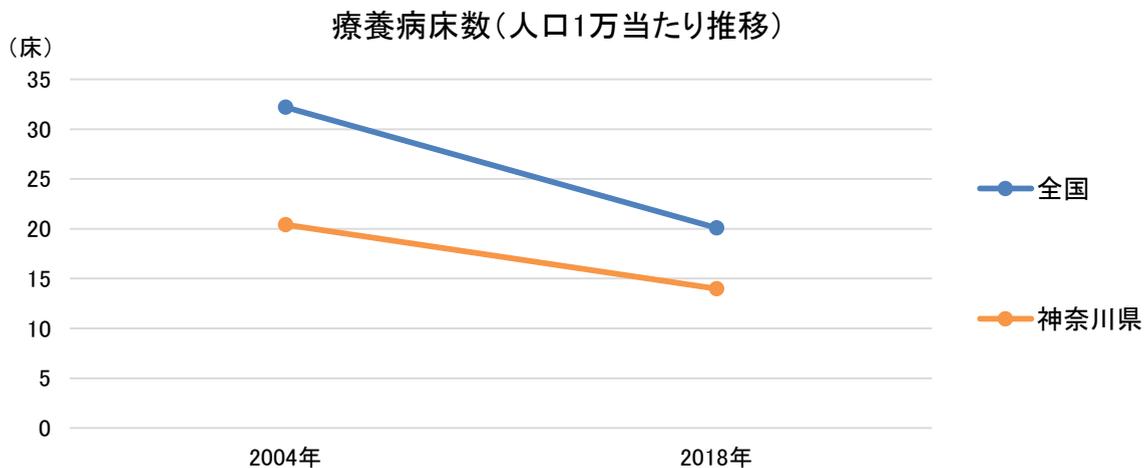
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が52,665床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2018年に48,889床(人口1万人当たり54(全国平均77)偏差値41)と、3,776床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



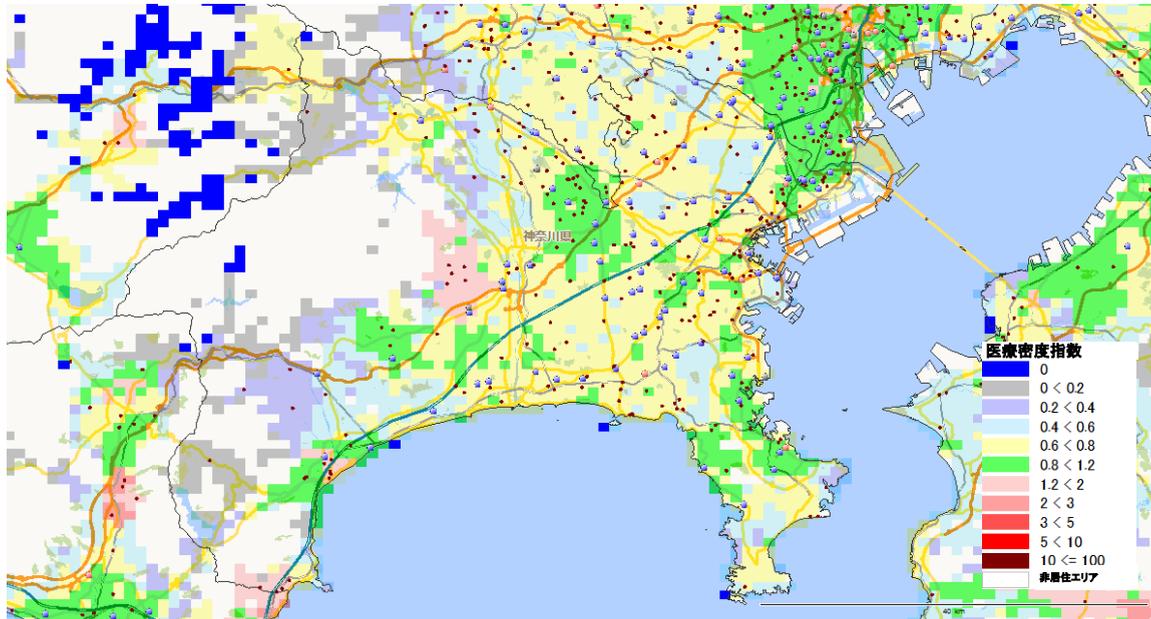
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12,221床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に13,895床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、1,674床の増加、率にして14%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



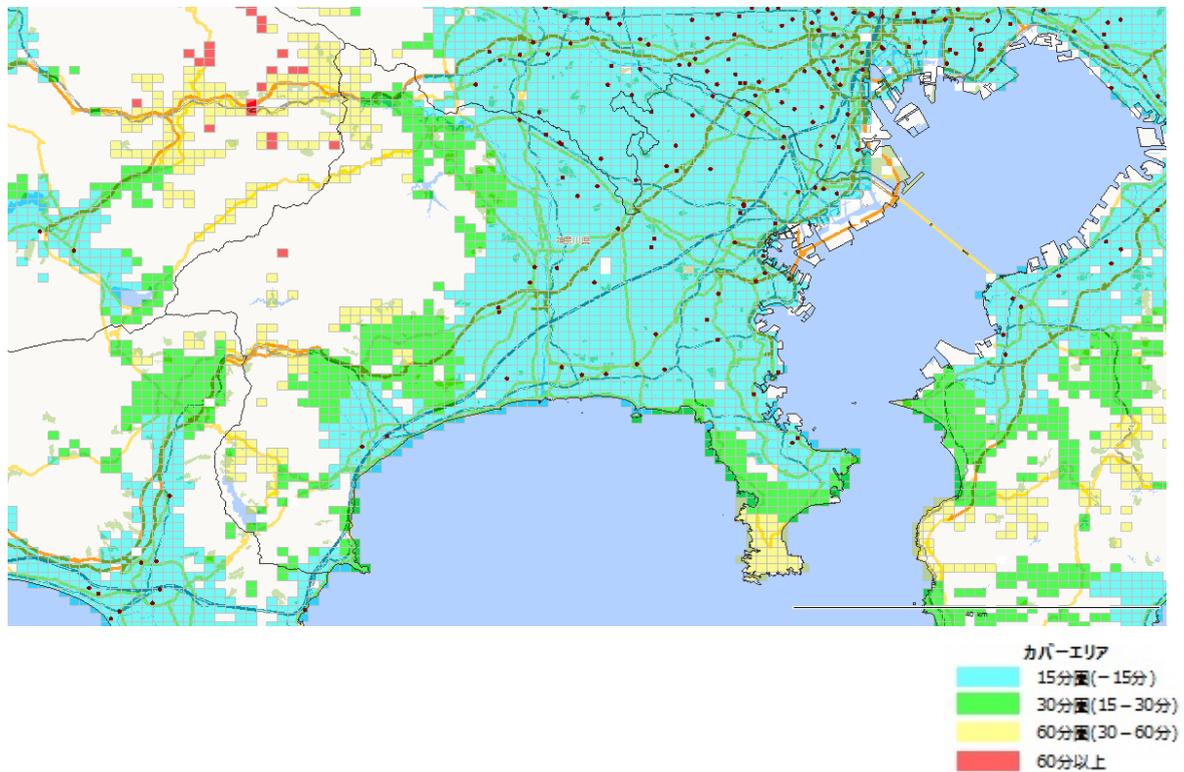
(神奈川県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



14.神奈川県(2019年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 14-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
神奈川県	9,126	2位	2,416	43位	3,777.7		24%	9,070	8,541	993	1,467	1,555	-1%	-6%	48%	6%
横浜北部	1,570	17%	177	7%	8,873.8	大都市型	20%	1,635	1,641	142	218	263	4%	0%	54%	21%
横浜西部	1,105	12%	138	6%	7,994.2	大都市型	26%	1,075	987	136	192	198	-3%	-8%	41%	3%
横浜南部	1,050	12%	122	5%	8,582.8	大都市型	26%	1,005	902	127	178	175	-4%	-10%	40%	-2%
川崎北部	843	9%	79	3%	10,714.1	大都市型	20%	876	873	76	121	148	4%	0%	59%	22%
川崎南部	632	7%	64	3%	9,828.8	大都市型	19%	670	689	57	76	83	6%	3%	33%	9%
横須賀・三浦	714	8%	207	9%	3,453.4	大都市型	31%	661	564	106	138	124	-7%	-15%	30%	-10%
湘南東部	711	8%	119	5%	5,995.9	大都市型	24%	724	701	78	117	126	2%	-3%	50%	8%
湘南西部	587	6%	253	10%	2,316.7	大都市型	26%	560	490	67	106	108	-5%	-13%	58%	2%
県央	846	9%	293	12%	2,888.4	大都市型	24%	833	767	82	134	135	-2%	-8%	63%	1%
相模原	721	8%	329	14%	2,193.1	大都市型	24%	711	658	73	121	131	-1%	-7%	66%	8%
県西	347	4%	635	26%	546.6	地方都市型	30%	320	268	48	65	63	-8%	-16%	35%	-3%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 14-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
神奈川県	0.74	0.50	106,599	120,881	-13.4%
横浜北部	0.73	0.49	16,271	18,553	-14.0%
横浜西部	0.75	0.25	18,227	16,329	10.4%
横浜南部	0.75	0.37	9,765	15,550	-59.2%
川崎北部	0.70	0.28	11,606	9,776	15.8%
川崎南部	0.86	0.35	4,618	6,110	-32.3%
横須賀・三浦	0.67	0.56	10,222	11,202	-9.6%
湘南東部	0.75	0.79	6,723	9,092	-35.2%
湘南西部	0.86	0.67	7,054	8,486	-20.3%
県央	0.76	0.93	8,023	10,817	-34.8%
相模原	0.64	0.82	8,586	9,730	-13.3%
県西	0.68	1.01	5,504	5,236	4.9%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 14-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
神奈川県	340	46	0.964	121	44	0.882	193	50	1.012	238	45
横浜北部	317	41	0.935	112	42	0.851	180	43	0.982	254	50
横浜西部	358	50	0.996	128	47	0.916	203	56	1.044	254	50
横浜南部	369	53	1.006	127	46	0.886	214	63	1.079	254	50
川崎北部	326	43	0.969	115	42	0.876	186	46	1.025	256	50
川崎南部	338	46	1.018	127	46	0.982	187	47	1.044	256	50
横須賀・三浦	359	51	0.978	124	45	0.864	208	59	1.050	244	47
湘南東部	327	43	0.917	112	42	0.810	188	47	0.975	208	36
湘南西部	346	48	0.945	128	47	0.901	192	50	0.970	213	38
県央	326	43	0.928	117	43	0.859	185	46	0.973	200	34
相模原	326	43	0.933	118	43	0.867	183	45	0.971	222	40
県西	368	53	0.993	140	51	0.972	202	56	1.006	221	40
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 14-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
神奈川県	851	44	0.944	380	41	0.851	431	51	1.030
横浜北部	888	47	0.982	397	43	0.881	449	55	1.072
横浜西部	851	44	0.946	375	41	0.841	435	52	1.036
横浜南部	860	44	0.954	372	41	0.832	447	55	1.065
川崎北部	905	48	1.009	403	44	0.907	461	58	1.105
川崎南部	960	53	1.063	459	49	1.016	464	59	1.113
横須賀・三浦	839	43	0.924	351	38	0.773	450	56	1.072
湘南東部	810	40	0.904	355	39	0.798	417	47	0.999
湘南西部	826	41	0.916	400	43	0.894	394	41	0.937
県央	787	38	0.894	358	39	0.835	392	40	0.940
相模原	799	39	0.902	362	40	0.834	397	42	0.951
県西	836	42	0.927	393	43	0.873	411	45	0.984
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
神奈川県	340	4.1%	3.7	43	6,739	6.6%	74	47
横浜北部	51	15%	3.2	42	1,256	19%	80	50
横浜西部	48	14%	4.3	44	860	13%	78	49
横浜南部	35	10%	3.3	42	887	13%	85	52
川崎北部	20	6%	2.4	39	523	8%	62	40
川崎南部	19	6%	3.0	41	464	7%	73	46
横須賀・三浦	28	8%	3.9	43	547	8%	77	48
湘南東部	24	7%	3.4	42	588	9%	83	51
湘南西部	22	6%	3.7	43	393	6%	67	43
県央	33	10%	3.9	43	540	8%	64	41
相模原	37	11%	5.1	46	420	6%	58	38
県西	23	7%	6.6	50	261	4%	75	47
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 14-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
神奈川県	6,739	6.6%	74	47	6,538	6.9%	72	48	201	2.9%	2.2	44
横浜北部	1,256	19%	80	50	1,213	19%	77	51	43	21%	2.7	45
横浜西部	860	13%	78	49	840	13%	76	51	20	10%	1.8	44
横浜南部	887	13%	85	52	872	13%	83	54	15	7%	1.4	43
川崎北部	523	8%	62	40	509	8%	60	42	14	7%	1.7	43
川崎南部	464	7%	73	46	451	7%	71	48	13	6%	2.1	44
横須賀・三浦	547	8%	77	48	522	8%	73	49	25	12%	3.5	47
湘南東部	588	9%	83	51	571	9%	80	53	17	8%	2.4	45
湘南西部	393	6%	67	43	381	6%	65	45	12	6%	2.0	44
県央	540	8%	64	41	518	8%	61	43	22	11%	2.6	45
相模原	420	6%	58	38	408	6%	57	40	12	6%	1.7	43
県西	261	4%	75	47	253	4%	73	49	8	4%	2.3	45
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 14-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
神奈川県	74,461	4.8%	816	42	2,382	2.5%	26	45	76,843	4.7%	842	42
横浜北部	9,101	12%	580	37	493	21%	31	45	9,594	12%	611	37
横浜西部	10,501	14%	950	44	191	8%	17	44	10,692	14%	968	44
横浜南部	8,170	11%	778	41	137	6%	13	43	8,307	11%	792	41
川崎北部	5,785	8%	686	39	174	7%	21	44	5,959	8%	707	39
川崎南部	5,030	7%	796	41	125	5%	20	44	5,155	7%	816	41
横須賀・三浦	5,977	8%	837	42	325	14%	45	47	6,302	8%	882	42
湘南東部	5,065	7%	712	39	197	8%	28	45	5,262	7%	740	40
湘南西部	6,290	8%	1,071	47	178	7%	30	45	6,468	8%	1,102	46
県央	6,775	9%	801	41	319	13%	38	46	7,094	9%	839	41
相模原	7,638	10%	1,060	47	144	6%	20	44	7,782	10%	1,080	46
県西	4,129	6%	1,189	49	99	4%	29	45	4,228	6%	1,218	49
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 14-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
神奈川県	46,645	5.2%	511	41	13,757	4.3%	151	45	13,819	4.2%	151	45
横浜北部	5,900	13%	376	35	2,253	16%	143	45	948	7%	60	40
横浜西部	6,001	13%	543	43	1,322	10%	120	43	3,152	23%	285	51
横浜南部	6,377	14%	608	46	651	5%	62	41	1,066	8%	102	42
川崎北部	3,542	8%	420	37	723	5%	86	42	1,520	11%	180	46
川崎南部	4,295	9%	680	49	445	3%	70	41	238	2%	38	39
横須賀・三浦	4,040	9%	565	44	1,017	7%	142	45	914	7%	128	44
湘南東部	2,995	6%	421	37	1,151	8%	162	46	913	7%	128	44
湘南西部	3,502	8%	597	45	1,228	9%	209	48	1,504	11%	256	50
県央	3,998	9%	473	40	1,185	9%	140	44	1,586	11%	188	47
相模原	3,920	8%	544	43	2,683	20%	372	56	1,029	7%	143	44
県西	2,075	4%	598	45	1,099	8%	317	53	949	7%	273	51
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
神奈川県	3,716	4.6%	41	45	3,422	4.3%	37	46
横浜北部	585	16%	37	44	582	17%	37	46
横浜西部	494	13%	45	46	364	11%	33	46
横浜南部	511	14%	49	47	367	11%	35	46
川崎北部	220	6%	26	42	147	4%	17	44
川崎南部	207	6%	33	43	239	7%	38	47
横須賀・三浦	255	7%	36	44	450	13%	63	50
湘南東部	238	6%	33	44	270	8%	38	47
湘南西部	333	9%	57	49	273	8%	47	48
県央	519	14%	61	50	394	12%	47	48
相模原	245	7%	34	44	203	6%	28	45
県西	109	3%	31	43	133	4%	38	47
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 14-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
神奈川県	18,877	17,738	50	55,112	29,289	13,310	37.7%	48	0.4%	48
横浜北部	1,409	1,359	0	7,900	4,540	2,469	23.0%	42	0.0%	48
横浜西部	1,816	1,750	0	8,633	4,257	1,327	29.1%	44	0.0%	48
横浜南部	5,248	4,683	0	2,699	1,705	651	73.3%	61	0.0%	48
川崎北部	676	676	0	5,059	2,833	817	19.3%	41	0.0%	48
川崎南部	1,706	1,616	0	3,324	2,727	397	37.2%	47	0.0%	48
横須賀・三浦	1,725	1,419	50	4,354	2,747	943	34.1%	46	5.0%	50
湘南東部	937	937	0	4,081	2,076	1,092	31.1%	45	0.0%	48
湘南西部	2,073	2,017	0	4,131	1,537	1,090	56.8%	55	0.0%	48
県央	750	744	0	6,011	3,472	953	17.6%	40	0.0%	48
相模原	1,432	1,432	0	6,089	2,425	2,635	37.1%	47	0.0%	48
県西	1,105	1,105	0	2,831	970	936	53.3%	53	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 14-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
神奈川県	157,320	7.1%	1,724	50	58,944	6.4%	646	47
横浜北部	23,652	15%	1,506	47	9,072	15%	578	44
横浜西部	21,456	14%	1,942	52	7,872	13%	712	49
横浜南部	22,440	14%	2,138	55	6,228	11%	593	45
川崎北部	11,112	7%	1,317	45	4,428	8%	525	42
川崎南部	15,636	10%	2,475	59	5,340	9%	845	54
横須賀・三浦	11,832	8%	1,656	49	3,804	6%	532	43
湘南東部	10,332	7%	1,453	46	5,064	9%	712	49
湘南西部	12,360	8%	2,105	54	3,372	6%	574	44
県央	11,160	7%	1,320	45	7,044	12%	833	54
相模原	13,596	9%	1,886	52	5,016	9%	696	49
県西	3,744	2%	1,078	42	1,704	3%	491	41
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 14-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
神奈川県	19,492	6.2%	214	47	12,503	6.0%	137	46	6,989	6.7%	77	48
横浜北部	2,881	15%	183	43	1,560	12%	99	41	1,321	19%	84	51
横浜西部	2,430	12%	220	47	1,529	12%	138	47	901	13%	82	50
横浜南部	3,113	16%	297	56	2,154	17%	205	56	959	14%	91	54
川崎北部	1,766	9%	209	46	1,211	10%	144	47	555	8%	66	43
川崎南部	1,584	8%	251	51	1,068	9%	169	51	516	7%	82	50
横須賀・三浦	1,585	8%	222	47	964	8%	135	46	621	9%	87	52
湘南東部	1,334	7%	188	44	717	6%	101	41	617	9%	87	52
湘南西部	1,443	7%	246	50	1,077	9%	183	53	366	5%	62	42
県央	1,181	6%	140	38	681	5%	81	39	500	7%	59	40
相模原	1,588	8%	220	47	1,203	10%	167	50	385	6%	53	38
県西	587	3%	169	42	339	3%	98	41	248	4%	71	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
神奈川県	1,899	6.5%	20.8	48	926	6.6%	10.1	48	744	6.6%	8.2	48
横浜北部	234	12%	14.9	43	162	17%	10.3	49	131	18%	8.3	49
横浜西部	248	13%	22.4	50	103	11%	9.3	46	97	13%	8.8	50
横浜南部	307	16%	29.3	56	178	19%	17.0	62	105	14%	10.0	53
川崎北部	208	11%	24.7	52	80	9%	9.5	47	74	10%	8.8	50
川崎南部	154	8%	24.4	51	65	7%	10.3	48	52	7%	8.2	48
横須賀・三浦	164	9%	23.0	50	55	6%	7.7	43	51	7%	7.1	46
湘南東部	134	7%	18.8	46	66	7%	9.3	46	53	7%	7.5	46
湘南西部	158	8%	26.9	53	56	6%	9.5	47	47	6%	8.0	48
県央	86	5%	10.2	39	61	7%	7.2	42	51	7%	6.0	43
相模原	164	9%	22.8	50	75	8%	10.4	49	67	9%	9.3	51
県西	42	2%	12.1	41	25	3%	7.2	42	16	2%	4.6	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 14-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
神奈川県	425	7.4%	4.7	51	662	6.7%	7.3	48	463	6.1%	5.1	47
横浜北部	83	20%	5.3	53	96	15%	6.1	45	76	16%	4.8	46
横浜西部	55	13%	5.0	52	82	12%	7.4	49	52	11%	4.7	45
横浜南部	66	16%	6.3	58	98	15%	9.3	55	75	16%	7.1	54
川崎北部	37	9%	4.4	49	62	9%	7.4	49	50	11%	5.9	50
川崎南部	36	8%	5.7	55	57	9%	9.0	54	40	9%	6.3	51
横須賀・三浦	36	8%	5.0	52	48	7%	6.7	47	38	8%	5.3	48
湘南東部	21	5%	3.0	43	55	8%	7.7	50	30	6%	4.2	44
湘南西部	20	5%	3.4	45	36	5%	6.1	45	29	6%	4.9	46
県央	27	6%	3.2	44	45	7%	5.3	42	25	5%	3.0	39
相模原	34	8%	4.7	51	63	10%	8.7	53	38	8%	5.3	47
県西	10	2%	2.9	43	20	3%	5.8	44	10	2%	2.9	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 14-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
神奈川県	676	7.0%	7.4	49	1,297	5.9%	14.2	46	1,063	6.3%	11.6	46
横浜北部	108	16%	6.9	48	173	13%	11.0	41	176	17%	11.2	46
横浜西部	115	17%	10.4	58	180	14%	16.3	49	121	11%	10.9	45
横浜南部	98	14%	9.3	55	203	16%	19.3	53	152	14%	14.5	53
川崎北部	57	8%	6.8	48	107	8%	12.7	44	91	9%	10.8	45
川崎南部	34	5%	5.4	44	113	9%	17.9	51	99	9%	15.7	55
横須賀・三浦	53	8%	7.4	49	78	6%	10.9	41	95	9%	13.3	50
湘南東部	54	8%	7.6	50	81	6%	11.4	42	66	6%	9.3	41
湘南西部	45	7%	7.7	50	98	8%	16.7	49	70	7%	11.9	47
県央	44	7%	5.2	43	88	7%	10.4	40	75	7%	8.9	41
相模原	43	6%	6.0	46	133	10%	18.5	52	80	8%	11.1	45
県西	25	4%	7.2	49	43	3%	12.4	43	38	4%	10.9	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 14-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
神奈川県	401	6.5%	4.4	48	428	6.1%	4.7	47	358	6.0%	3.9	48
横浜北部	53	13%	3.4	43	73	17%	4.6	47	49	14%	3.1	45
横浜西部	55	14%	5.0	50	59	14%	5.3	49	50	14%	4.5	50
横浜南部	62	15%	5.9	55	71	17%	6.8	55	48	13%	4.6	50
川崎北部	26	6%	3.1	42	36	8%	4.3	45	43	12%	5.1	51
川崎南部	32	8%	5.1	51	39	9%	6.2	53	40	11%	6.3	55
横須賀・三浦	23	6%	3.2	42	26	6%	3.6	42	30	8%	4.2	48
湘南東部	33	8%	4.6	49	24	6%	3.4	41	21	6%	3.0	45
湘南西部	30	7%	5.1	51	30	7%	5.1	48	33	9%	5.6	53
県央	29	7%	3.4	43	37	9%	4.4	45	13	4%	1.5	40
相模原	46	11%	6.4	57	23	5%	3.2	41	28	8%	3.9	47
県西	12	3%	3.5	43	10	2%	2.9	39	3	1%	0.9	38
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
神奈川県	492	6.7%	5.4	49	100	6.0%	1.1	48	342	8.0%	3.7	52
横浜北部	68	14%	4.3	46	8	8%	0.5	42	50	15%	3.2	49
横浜西部	83	17%	7.5	55	17	17%	1.5	52	39	11%	3.5	51
横浜南部	109	22%	10.4	64	18	18%	1.7	54	55	16%	5.2	59
川崎北部	34	7%	4.0	45	10	10%	1.2	49	33	10%	3.9	53
川崎南部	33	7%	5.2	48	12	12%	1.9	56	38	11%	6.0	63
横須賀・三浦	41	8%	5.7	50	7	7%	1.0	47	25	7%	3.5	51
湘南東部	26	5%	3.7	43	7	7%	1.0	47	23	7%	3.2	49
湘南西部	27	5%	4.6	46	12	12%	2.0	57	33	10%	5.6	61
県央	25	5%	3.0	41	5	5%	0.6	43	21	6%	2.5	46
相模原	37	8%	5.1	48	3	3%	0.4	41	16	5%	2.2	45
県西	9	2%	2.6	40	1	1%	0.3	40	9	3%	2.6	46
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 14-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
神奈川県	162	7.3%	1.8	50	151	5.5%	1.7	46
横浜北部	27	17%	1.7	50	30	20%	1.9	48
横浜西部	19	12%	1.7	50	14	9%	1.3	44
横浜南部	28	17%	2.7	57	24	16%	2.3	51
川崎北部	10	6%	1.2	46	10	7%	1.2	43
川崎南部	15	9%	2.4	55	8	5%	1.3	44
横須賀・三浦	12	7%	1.7	49	13	9%	1.8	48
湘南東部	14	9%	2.0	52	16	11%	2.2	51
湘南西部	9	6%	1.5	48	11	7%	1.9	48
県央	9	6%	1.1	45	13	9%	1.5	46
相模原	14	9%	1.9	52	6	4%	0.8	41
県西	5	3%	1.4	48	6	4%	1.7	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 14-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
神奈川県	57,506	5.0%	630	41	46,714	5.1%	512	41	10,793	4.8%	118	42
横浜北部	8,029	14%	511	36	6,114	13%	389	36	1,915	18%	122	42
横浜西部	8,118	14%	735	44	6,644	14%	601	45	1,474	14%	133	44
横浜南部	7,841	14%	747	45	6,525	14%	622	46	1,317	12%	125	43
川崎北部	4,179	7%	495	36	3,424	7%	406	37	755	7%	90	38
川崎南部	4,814	8%	762	45	4,041	9%	640	47	773	7%	122	42
横須賀・三浦	4,116	7%	576	39	3,189	7%	446	39	927	9%	130	43
湘南東部	3,649	6%	513	36	2,802	6%	394	36	847	8%	119	42
湘南西部	4,620	8%	787	46	4,030	9%	687	48	590	5%	100	39
県央	4,514	8%	534	37	3,532	8%	418	37	982	9%	116	41
相模原	5,307	9%	736	44	4,488	10%	623	46	819	8%	114	41
県西	2,319	4%	668	42	1,924	4%	554	43	395	4%	114	41
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 14-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
神奈川県	6,135	4.4%	67	43	22,913	7.4%	251	51
横浜北部	948	15%	60	41	4,396	19%	280	53
横浜西部	931	15%	84	46	2,853	12%	258	51
横浜南部	697	11%	66	42	2,716	12%	259	51
川崎北部	372	6%	44	38	1,989	9%	236	49
川崎南部	342	6%	54	40	1,717	7%	272	53
横須賀・三浦	531	9%	74	44	1,693	7%	237	49
湘南東部	374	6%	53	40	1,827	8%	257	51
湘南西部	507	8%	86	46	1,351	6%	230	49
県央	738	12%	87	46	1,782	8%	211	47
相模原	483	8%	67	43	1,635	7%	227	48
県西	214	3%	61	42	954	4%	275	53
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
神奈川県	858	5.9%	0.9	49	69	4.7%	0.1	47	729	6.3%	0.7	51
横浜北部	159	19%	1.1	55	11	16%	0.1	48	136	19%	1.0	61
横浜西部	98	11%	0.7	46	13	19%	0.1	51	105	14%	0.8	53
横浜南部	85	10%	0.7	45	8	12%	0.1	46	91	12%	0.7	50
川崎北部	68	8%	0.9	50	3	4%	0.0	43	52	7%	0.7	49
川崎南部	57	7%	1.0	53	4	6%	0.1	47	34	5%	0.6	45
横須賀・三浦	91	11%	0.9	49	6	9%	0.1	45	63	9%	0.6	45
湘南東部	90	10%	1.2	56	8	12%	0.1	52	54	7%	0.7	49
湘南西部	63	7%	0.9	51	2	3%	0.0	42	46	6%	0.7	49
県央	58	7%	0.7	46	6	9%	0.1	48	65	9%	0.8	54
相模原	43	5%	0.6	43	5	7%	0.1	47	52	7%	0.7	50
県西	46	5%	0.9	51	3	4%	0.1	46	31	4%	0.6	47
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 14-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
神奈川県	118,211	6.9%	119	58	56,630	5.6%	57	46	61,581	8.6%	62	61
横浜北部	18,703	16%	132	66	9,090	16%	64	52	9,613	16%	68	65
横浜西部	19,418	16%	143	72	10,559	19%	78	63	8,859	14%	65	63
横浜南部	10,383	9%	82	36	5,451	10%	43	35	4,932	8%	39	47
川崎北部	12,741	11%	169	88	4,454	8%	59	48	8,287	13%	110	92
川崎南部	5,303	4%	94	43	2,147	4%	38	31	3,156	5%	56	58
横須賀・三浦	10,821	9%	102	48	5,385	10%	51	41	5,436	9%	51	55
湘南東部	8,380	7%	107	51	3,784	7%	49	40	4,596	7%	59	60
湘南西部	7,849	7%	116	57	3,378	6%	50	41	4,471	7%	66	64
県央	9,176	8%	112	54	4,562	8%	55	45	4,614	7%	56	58
相模原	9,674	8%	132	66	5,130	9%	70	57	4,544	7%	62	61
県西	5,763	5%	119	58	2,690	5%	56	45	3,073	5%	63	62
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 14-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
神奈川県	20,017	5.4%	20	46	35,549	6.1%	36	50	1,064	2.0%	1.1	44
横浜北部	3,258	16%	23	51	5,648	16%	40	54	184	17%	1.3	45
横浜西部	4,112	21%	30	63	6,303	18%	46	61	144	14%	1.1	44
横浜南部	2,225	11%	17	42	3,226	9%	25	39	0	0%	0	42
川崎北部	1,539	8%	20	46	2,825	8%	37	52	90	8%	1.2	45
川崎南部	622	3%	11	31	1,525	4%	27	41	0	0%	0	42
横須賀・三浦	1,833	9%	17	41	3,552	10%	33	48	0	0%	0	42
湘南東部	1,416	7%	18	43	2,308	6%	30	44	60	6%	0.8	44
湘南西部	1,158	6%	17	41	2,220	6%	33	47	0	0%	0	42
県央	1,605	8%	20	45	2,957	8%	36	50	0	0%	0	42
相模原	1,271	6%	17	41	3,273	9%	45	59	586	55%	8.0	63
県西	978	5%	20	46	1,712	5%	35	50	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
神奈川県	35,190	14.6%	35.4	69	769	3.3%	0.8	47	12,580	6.2%	12.7	50
横浜北部	5,140	15%	36.1	70	100	13%	0.7	47	1,941	15%	13.6	52
横浜西部	5,043	14%	37.1	71	190	25%	1.4	50	2,337	19%	17.2	58
横浜南部	3,157	9%	24.8	59	0	0%	0	43	1,157	9%	9.1	44
川崎北部	5,688	16%	75.3	106	214	28%	2.8	57	1,250	10%	16.6	57
川崎南部	1,634	5%	28.9	63	0	0%	0	43	812	6%	14.3	53
横須賀・三浦	3,701	11%	34.9	69	0	0%	0	43	1,103	9%	10.4	46
湘南東部	2,138	6%	27.4	62	0	0%	0	43	753	6%	9.7	45
湘南西部	2,664	8%	39.5	73	225	29%	3.3	59	630	5%	9.3	44
県央	2,204	6%	26.8	61	0	0%	0	43	822	7%	10.0	46
相模原	2,001	6%	27.2	61	40	5%	0.5	46	1,211	10%	16.5	57
県西	1,820	5%	37.6	71	0	0%	0	43	564	4%	11.6	48
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
神奈川県	13,042	5.3%	13.1	47	1,430	5.5%	1.4	49	11,612	5.3%	11.7	48
横浜北部	2,432	19%	17.1	53	0	0%	0	42	2,432	21%	17.1	55
横浜西部	1,289	10%	9.5	42	98	7%	0.7	46	1,191	10%	8.8	43
横浜南部	618	5%	4.9	36	0	0%	0	42	618	5%	4.9	38
川崎北部	1,135	9%	15.0	50	0	0%	0	42	1,135	10%	15.0	52
川崎南部	710	5%	12.5	47	25	2%	0.4	44	685	6%	12.1	48
横須賀・三浦	632	5%	6.0	38	33	2%	0.3	43	599	5%	5.6	39
湘南東部	1,705	13%	21.9	59	48	3%	0.6	45	1,657	14%	21.2	61
湘南西部	952	7%	14.1	49	157	11%	2.3	54	795	7%	11.8	48
県央	1,588	12%	19.3	56	435	30%	5.3	69	1,153	10%	14.0	51
相模原	1,292	10%	17.6	53	204	14%	2.8	56	1,088	9%	14.8	52
県西	689	5%	14.2	49	430	30%	8.9	88	259	2%	5.3	39
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 14-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
神奈川県	10,017	5.7%	10.1	47	6,481	5.4%	6.5	46	3,536	6.3%	3.6	51
横浜北部	1,626	16%	11.4	53	992	15%	7.0	48	634	18%	4.5	59
横浜西部	1,605	16%	11.8	55	1,067	16%	7.8	53	537	15%	3.9	55
横浜南部	1,071	11%	8.4	40	593	9%	4.7	36	479	14%	3.8	53
川崎北部	985	10%	13.0	61	741	11%	9.8	63	244	7%	3.2	48
川崎南部	448	4%	7.9	37	253	4%	4.5	35	195	6%	3.4	50
横須賀・三浦	843	8%	8.0	37	546	8%	5.1	39	298	8%	2.8	45
湘南東部	727	7%	9.3	44	465	7%	6.0	43	262	7%	3.4	50
湘南西部	678	7%	10.0	47	425	7%	6.3	45	253	7%	3.8	53
県央	761	8%	9.3	43	495	8%	6.0	43	266	8%	3.2	49
相模原	841	8%	11.4	53	619	10%	8.4	56	222	6%	3.0	47
県西	432	4%	8.9	42	286	4%	5.9	43	146	4%	3.0	47
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
神奈川県	93,114	6.2%	94	51	80,260	6.2%	81	51	12,853	5.9%	12.9	49
横浜北部	14,671	16%	103	59	12,587	16%	89	59	2,084	16%	14.7	52
横浜西部	15,039	16%	111	66	13,484	17%	99	69	1,555	12%	11.4	46
横浜南部	9,980	11%	78	37	8,082	10%	64	35	1,897	15%	14.9	53
川崎北部	8,196	9%	109	64	7,155	9%	95	65	1,041	8%	13.8	51
川崎南部	4,783	5%	84	43	3,826	5%	68	39	956	7%	16.9	57
横須賀・三浦	8,820	9%	83	42	7,625	10%	72	43	1,195	9%	11.3	46
湘南東部	6,588	7%	84	43	5,598	7%	72	43	989	8%	12.7	49
湘南西部	5,755	6%	85	43	5,071	6%	75	46	684	5%	10.1	44
県央	7,671	8%	93	51	6,626	8%	81	51	1,045	8%	12.7	49
相模原	7,477	8%	102	58	6,468	8%	88	58	1,009	8%	13.7	51
県西	4,133	4%	85	43	3,736	5%	77	48	397	3%	8.2	40
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
神奈川県	112,799	9.2%	114	61	46,583	8.4%	47	59	73,919	6.6%	74	53
横浜北部	23,879	21%	168	76	8,344	18%	59	68	13,014	18%	92	60
横浜西部	10,833	10%	80	51	6,895	15%	51	62	8,851	12%	65	49
横浜南部	11,178	10%	88	54	6,595	14%	52	63	11,514	16%	91	59
川崎北部	9,778	9%	129	65	4,260	9%	56	66	5,979	8%	79	55
川崎南部	10,238	9%	181	80	2,807	6%	50	61	5,280	7%	93	60
横須賀・三浦	11,489	10%	108	59	3,557	8%	34	50	6,966	9%	66	49
湘南東部	10,291	9%	132	66	3,401	7%	44	57	5,170	7%	66	49
湘南西部	6,678	6%	99	57	2,935	6%	43	57	4,314	6%	64	48
県央	8,648	8%	105	59	3,366	7%	41	55	5,576	8%	68	50
相模原	5,905	5%	80	51	2,792	6%	38	53	5,162	7%	70	51
県西	3,882	3%	80	51	1,631	4%	34	50	2,093	3%	43	39
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
神奈川県		8,791,597	9,126,214	4%	9,069,562	3%	20%	9%	30%
横浜北部	大都市型	1,442,557	1,570,303	9%	1,635,089	13%	23%	13%	39%
横浜西部	大都市型	1,080,260	1,105,037	2%	1,074,546	-1%	19%	6%	27%
横浜南部	大都市型	1,056,811	1,049,504	-1%	1,005,322	-5%	16%	5%	22%
川崎北部	大都市型	768,177	843,416	10%	875,777	14%	25%	15%	44%
川崎南部	大都市型	558,834	631,797	13%	670,119	20%	21%	10%	33%
横須賀・三浦	大都市型	736,761	714,415	-3%	661,310	-10%	12%	1%	13%
湘南東部	大都市型	671,891	711,178	6%	723,768	8%	22%	11%	35%
湘南西部	大都市型	590,691	587,047	-1%	560,205	-5%	18%	8%	27%
県央	大都市型	822,880	845,580	3%	833,158	1%	22%	10%	34%
相模原	大都市型	701,630	720,780	3%	710,539	1%	22%	11%	36%
県西	地方都市型	361,105	347,157	-4%	319,729	-11%	13%	2%	15%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 14-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
神奈川県	357	4.1	42	340	3.7	43	-17	-5%
横浜北部	52	3.6	41	51	3.2	42	-1	-2%
横浜西部	51	4.7	44	48	4.3	44	-3	-6%
横浜南部	38	3.6	41	35	3.3	42	-3	-8%
川崎北部	18	2.3	38	20	2.4	39	2	11%
川崎南部	26	4.7	44	19	3.0	41	-7	-27%
横須賀・三浦	32	4.3	43	28	3.9	43	-4	-13%
湘南東部	23	3.4	40	24	3.4	42	1	4%
湘南西部	21	3.6	41	22	3.7	43	1	5%
県央	36	4.4	43	33	3.9	43	-3	-8%
相模原	35	5.0	45	37	5.1	46	2	6%
県西	25	6.9	50	23	6.6	50	-2	-8%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 14-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
神奈川県	5,977	68	46	6,739	74	47	762	13%
横浜北部	1,044	72	48	1,256	80	50	212	20%
横浜西部	728	67	46	860	78	49	132	18%
横浜南部	831	79	51	887	85	52	56	7%
川崎北部	419	55	39	523	62	40	104	25%
川崎南部	442	79	52	464	73	46	22	5%
横須賀・三浦	575	78	51	547	77	48	-28	-5%
湘南東部	496	74	49	588	83	51	92	19%
湘南西部	358	61	42	393	67	43	35	10%
県央	473	57	41	540	64	41	67	14%
相模原	360	51	38	420	58	38	60	17%
県西	251	70	47	261	75	47	10	4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 14-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
神奈川県	15,209	173	45	19,492	214	47	4,283	28%
横浜北部	2,076	144	42	2,881	183	43	805	39%
横浜西部	1,760	163	44	2,430	220	47	670	38%
横浜南部	2,337	221	51	3,113	297	56	776	33%
川崎北部	1,193	155	43	1,766	209	46	573	48%
川崎南部	1,277	229	52	1,584	251	51	307	24%
横須賀・三浦	1,271	173	45	1,585	222	47	314	25%
湘南東部	954	142	42	1,334	188	44	380	40%
湘南西部	1,307	221	51	1,443	246	50	136	10%
県央	976	119	39	1,181	140	38	205	21%
相模原	1,507	215	50	1,588	220	47	81	5%
県西	551	153	43	587	169	42	36	7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

14.神奈川県(2019年版)

資_図表 14-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
神奈川県	80,171	91	41	76,843	84	42	-3,328	-4%
横浜北部	9,216	64	36	9,594	61	37	378	4%
横浜西部	10,980	102	43	10,692	97	44	-288	-3%
横浜南部	9,274	88	40	8,307	79	41	-967	-10%
川崎北部	5,029	65	36	5,959	71	39	930	18%
川崎南部	5,879	105	43	5,155	82	41	-724	-12%
横須賀・三浦	7,097	96	42	6,302	88	42	-795	-11%
湘南東部	4,821	72	37	5,262	74	40	441	9%
湘南西部	7,430	126	47	6,468	110	46	-962	-13%
県央	7,409	90	41	7,094	84	41	-315	-4%
相模原	8,304	118	46	7,782	108	46	-522	-6%
県西	4,732	131	48	4,228	122	49	-504	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 14-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
神奈川県	52,665	60	42	48,889	54	41	-3,776	-7%
横浜北部	6,620	46	37	6,346	40	36	-274	-4%
横浜西部	6,654	62	42	6,192	56	42	-462	-7%
横浜南部	7,247	69	45	6,514	62	44	-733	-10%
川崎北部	3,174	41	35	3,716	44	37	542	17%
川崎南部	5,034	90	52	4,420	70	47	-614	-12%
横須賀・三浦	4,954	67	44	4,350	61	44	-604	-12%
湘南東部	2,894	43	36	3,192	45	38	298	10%
湘南西部	4,159	70	45	3,680	63	45	-479	-12%
県央	5,171	63	43	4,280	51	40	-891	-17%
相模原	4,175	60	41	4,045	56	42	-130	-3%
県西	2,583	72	46	2,154	62	44	-429	-17%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 14-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

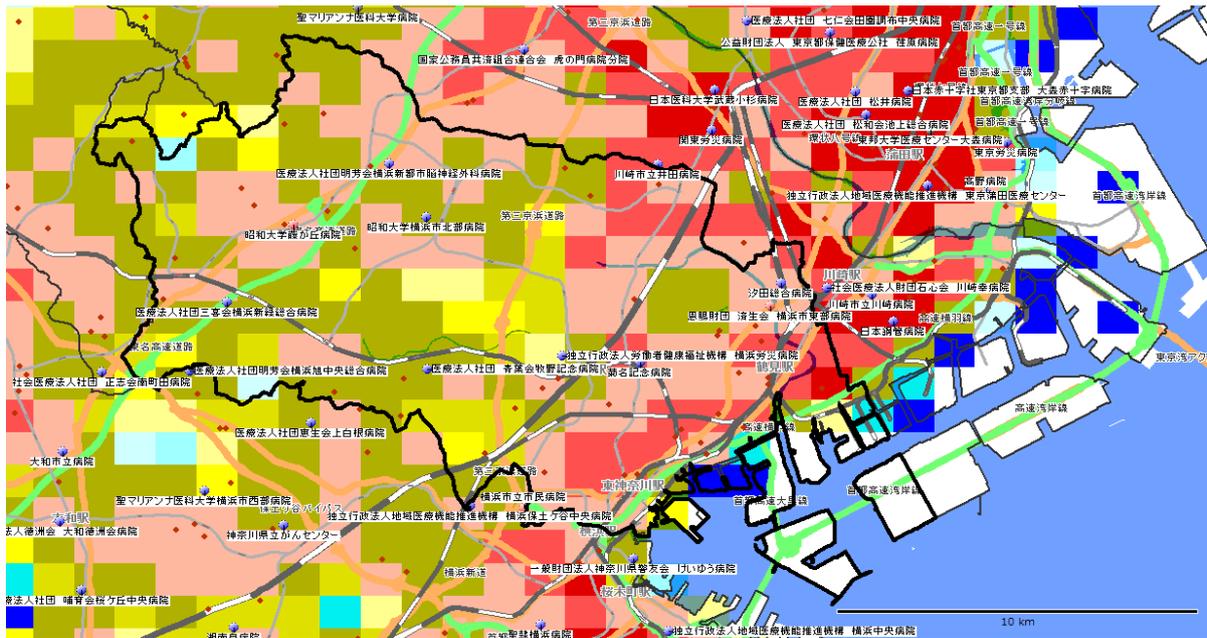
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
神奈川県	12,221	20	43	13,895	14	44	1,674	14%
横浜北部	1,680	20	43	2,300	16	46	620	37%
横浜西部	1,099	14	40	1,322	10	41	223	20%
横浜南部	356	4	34	651	5	36	295	83%
川崎北部	569	14	40	723	10	41	154	27%
川崎南部	474	12	39	445	8	39	-29	-6%
横須賀・三浦	998	14	40	1,032	10	41	34	3%
湘南東部	952	21	43	1,151	15	45	199	21%
湘南西部	1,348	32	50	1,228	18	48	-120	-9%
県央	651	15	40	1,222	15	45	571	88%
相模原	2,923	74	73	2,702	37	65	-221	-8%
県西	1,171	36	52	1,119	23	53	-52	-4%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

よこはまほくぶ 14-1. 横浜北部医療圏

構成市区町村 [鶴見区](#) [神奈川区](#) [港北区](#) [緑区](#)
[青葉区](#) [都筑区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(横浜北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜北部(横浜市鶴見区)は、総人口約1,570千人(2015年)、面積177km²、人口密度は8,874人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜北部の総人口は2025年に1,635千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に1,641千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の142千人が、2025年にかけて218千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には263千人へと増加する(2025年比+21%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜北部の一人当たり医療費(国保)は317千円(偏差値41)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数は0.49で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。横浜北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の昭和大学横浜市北部病院(Ⅲ群)、横浜労災病院(Ⅲ群・救命)、昭和大学藤が丘病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市東部病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の菊名記念病院(Ⅲ群)、500例以上のたちばな台病院(Ⅲ群)、横浜新都市脳神経外科病院(Ⅲ群)、横浜新緑総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,703人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,090床(偏差値52)、高齢者住宅等が9,613床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,587人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム70、軽費ホーム47、グループホーム52、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,084人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜北部医療圏の総人口は、2005年1,442,557人が、2015年に1,570,303人と9%増加し、2025年の人口が1,635,089人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

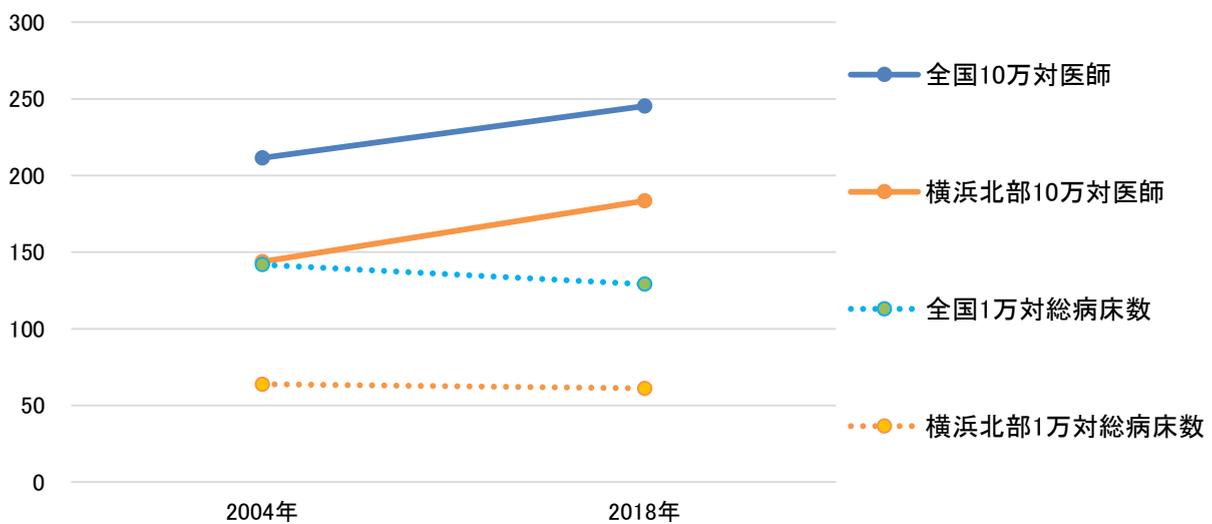
2004年の病院数が52(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2018年に51(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が1,044(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2018年に1,256(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、212診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,216床(人口1万人当たり64(全国平均142)偏差値36)であったが、2018年に9,594床(人口1万人当たり61(全国平均129)偏差値37)と、378床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

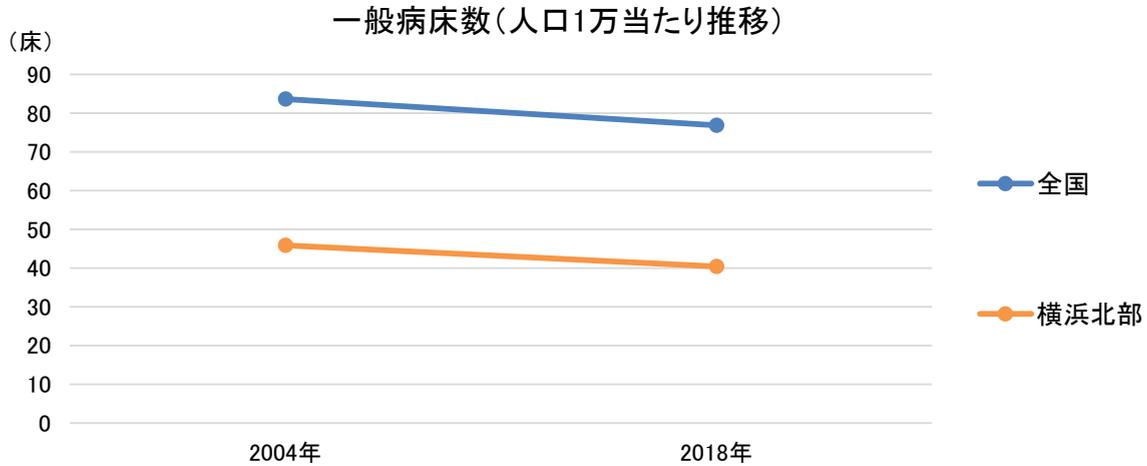
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,076人(人口10万人当たり144人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に2,881人(人口10万人当たり183人(全国平均245人)偏差値43)と、805人の増加、率にして39%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



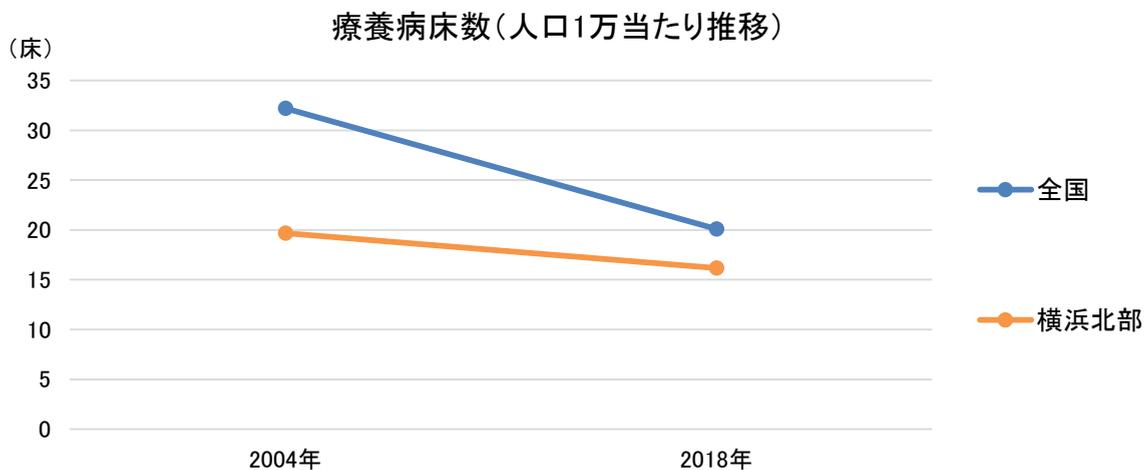
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,620床(人口1万人当たり46(全国平均84)偏差値37)であったが、2018年に6,346床(人口1万人当たり40(全国平均77)偏差値36)と、274床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



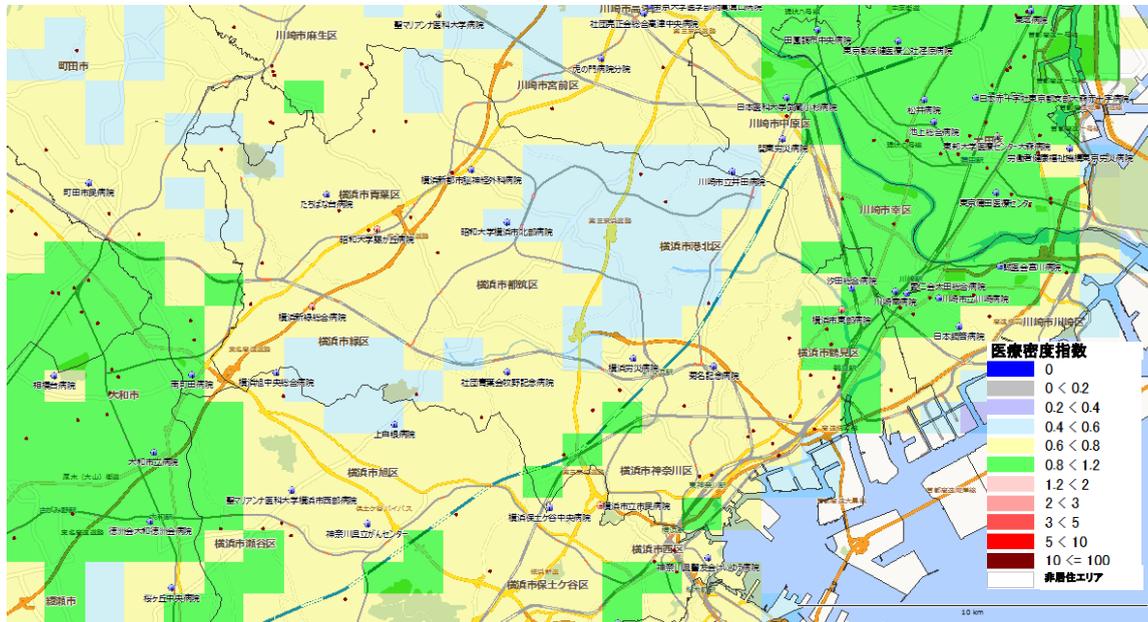
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,680床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に2,300床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、620床の増加、率にして37%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



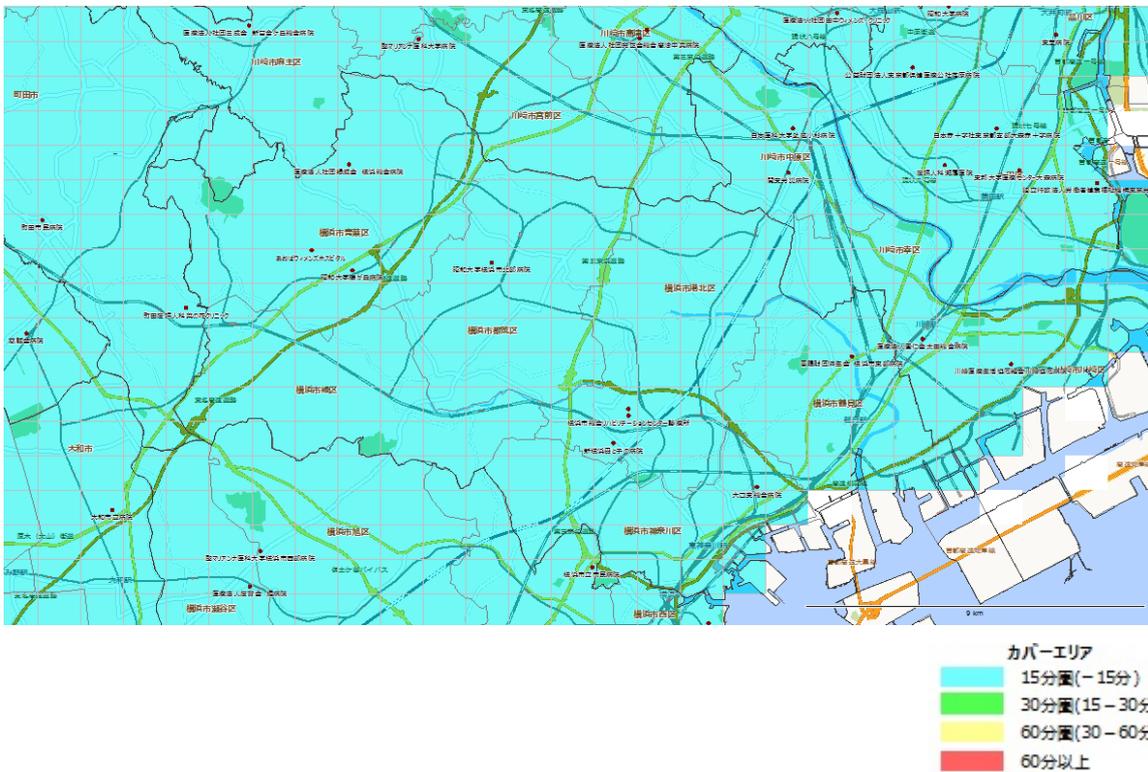
(横浜北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

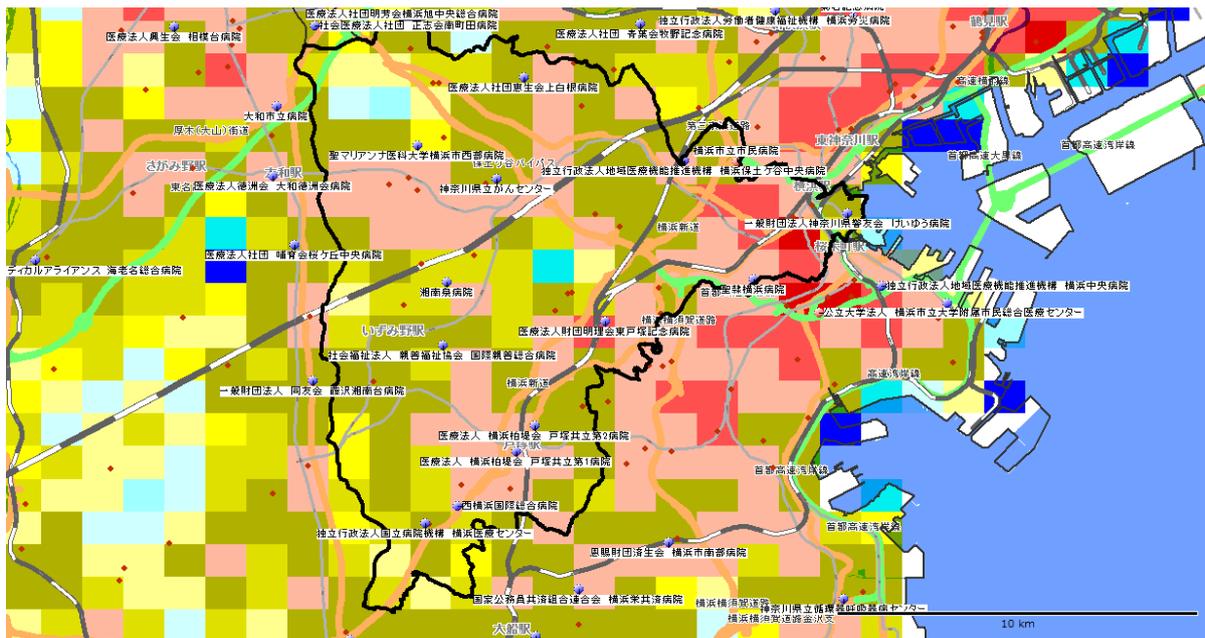


14-2. よこはませいぶ 横浜西部医療圏

構成市区町村 [西区](#) [保土ヶ谷区](#) [戸塚区](#) [旭区](#)
[瀬谷区](#) [泉区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(横浜西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 横浜西部(横浜市西区)は、総人口約1,105千人(2015年)、面積138km²、人口密度は7,994人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 横浜西部の総人口は2025年に1,075千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に987千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の136千人が、2025年にかけて192千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には198千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 横浜西部の一人当たり医療費(国保)は358千円(偏差値50)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 横浜西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.25で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。横浜西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHQ横浜医療センター(Ⅲ群・救命)、神奈川県立がんセンター(Ⅲ群)、けいゆう病院(Ⅲ群)、横浜市立市民病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の国際親善総合病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(Ⅲ群・救命)、横浜旭中央総合病院(Ⅲ群)、東戸塚記念病院(Ⅲ群)、500例以上の上白根病院(Ⅲ群)、戸塚共立第2病院(Ⅲ群)、戸塚共立第1病院(Ⅲ群)、聖隷横浜病院(Ⅲ群)、JCHO横浜保土ヶ谷中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 横浜西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,418人(75歳以上1,000人当たりの偏差値72)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,559床(偏差値63)、高齢者住宅等が8,859床(偏差値63)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,484人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム71、軽費ホーム50、グループホーム58、サ高住42である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,555人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みである。

(横浜西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜西部医療圏の総人口は、2005年1,080,260人が、2015年に1,105,037人と2%増加し、2025年の人口が1,074,546人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

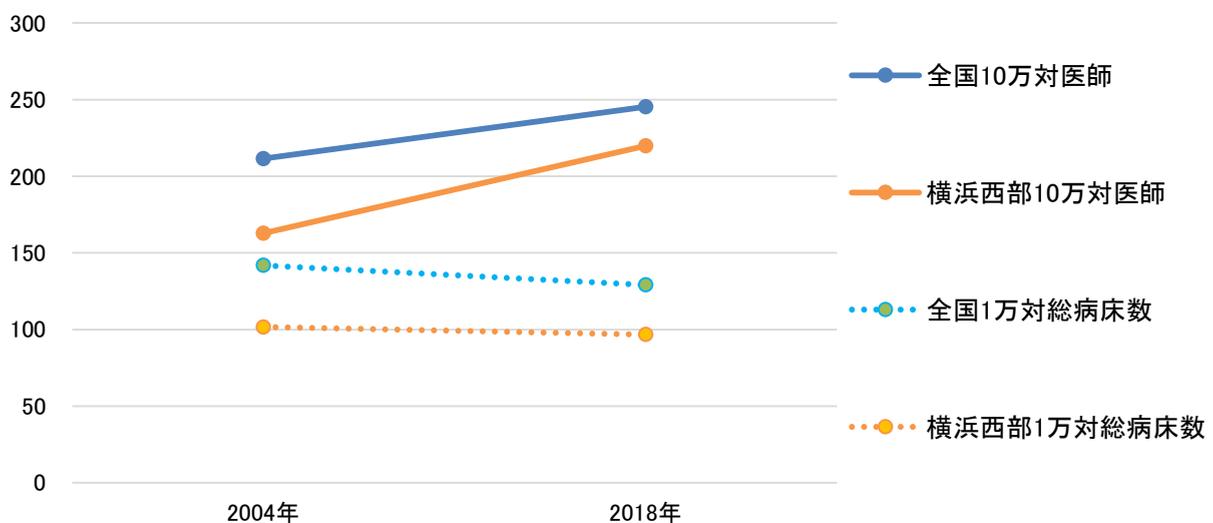
2004年の病院数が51(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2018年に48(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が728(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に860(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、132診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,980床(人口1万人当たり102(全国平均142)偏差値43)であったが、2018年に10,692床(人口1万人当たり97(全国平均129)偏差値44)と、288床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,760人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に2,430人(人口10万人当たり220人(全国平均245人)偏差値47)と、670人の増加、率にして38%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

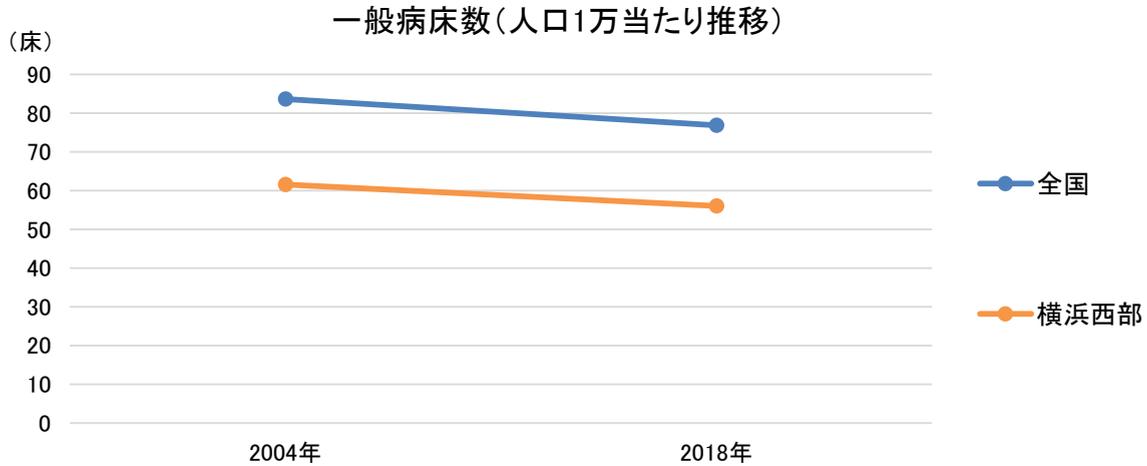
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

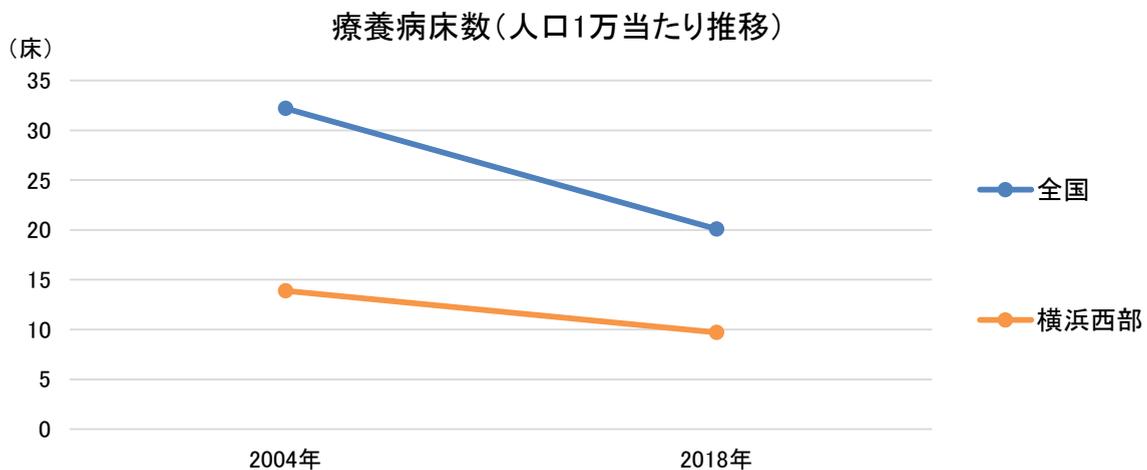
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,654床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2018年に6,192床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、462床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



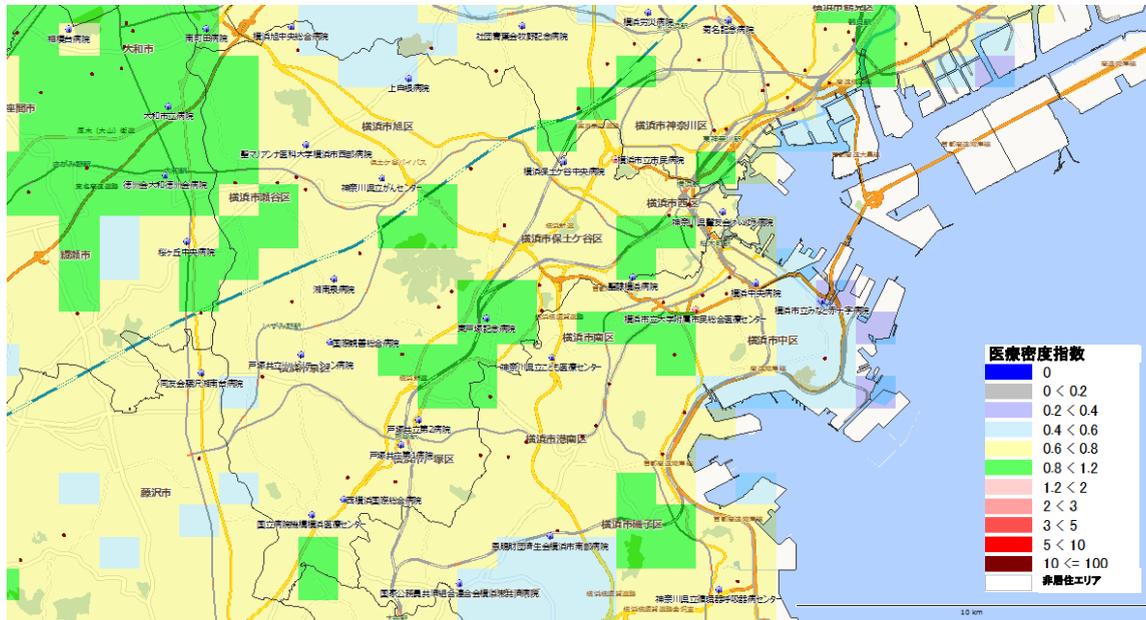
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,099床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に1,322床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、223床の増加、率にして20%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



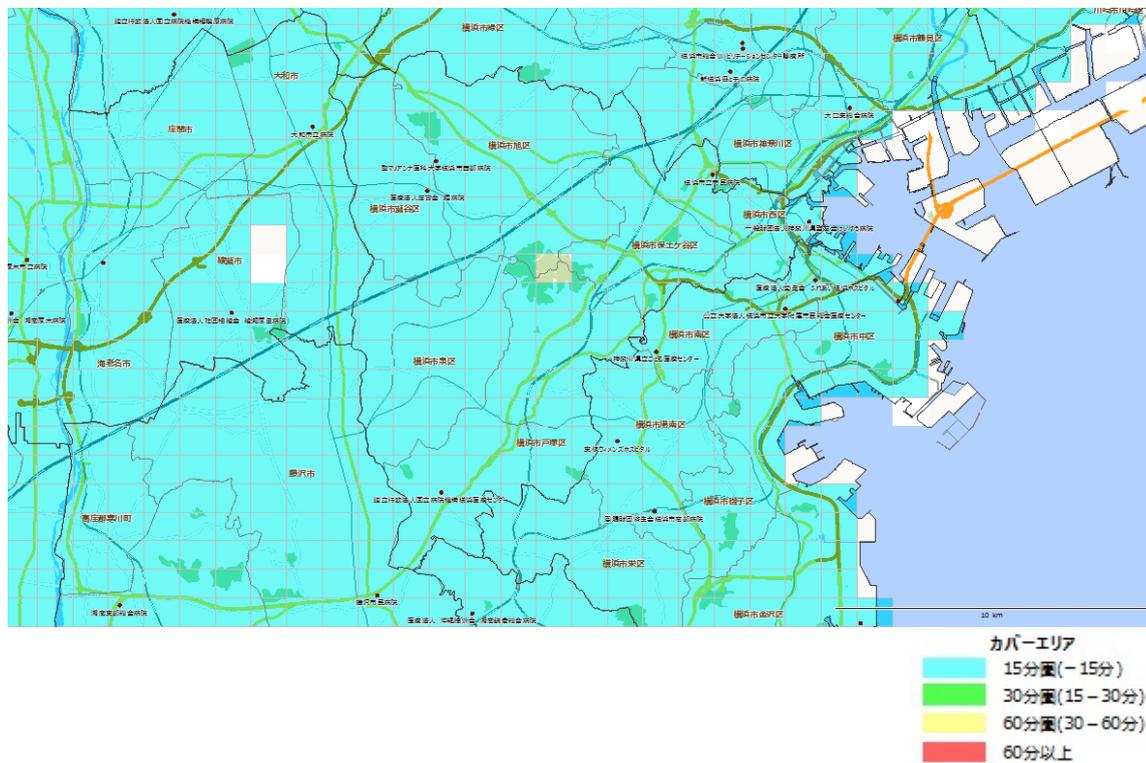
(横浜西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

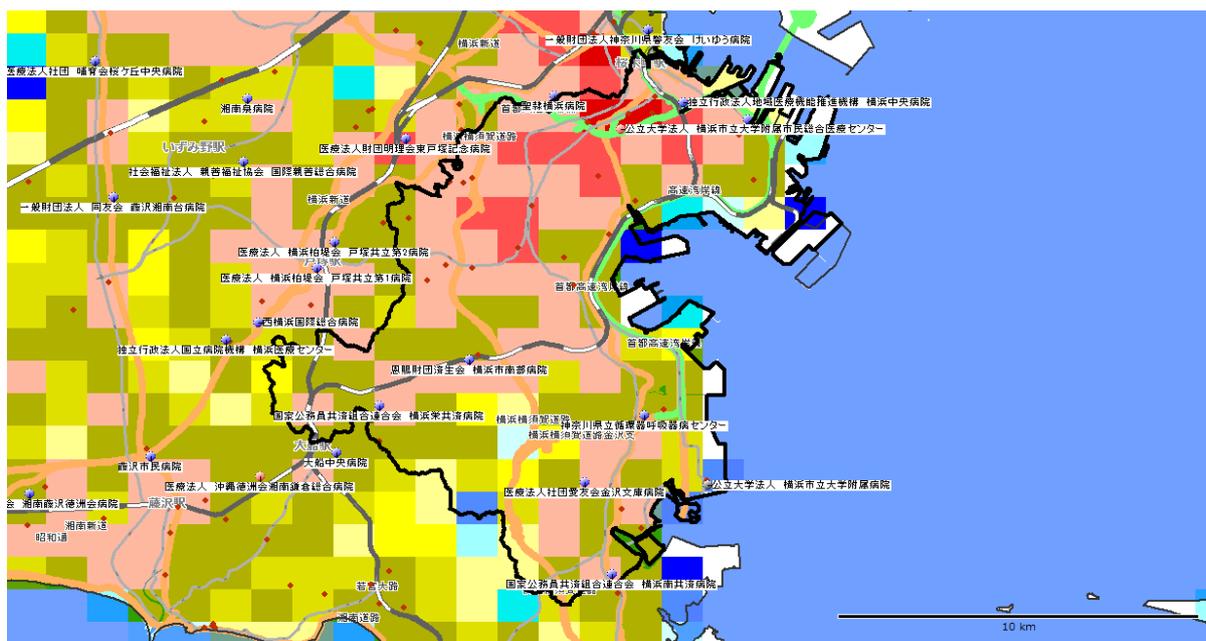


14-3. よこはまなんぶ 横浜南部医療圏

構成市区町村 [中区](#) [南区](#) [磯子区](#) [金沢区](#)
[港南区](#) [栄区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(横浜南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 横浜南部(横浜市中区)は、総人口約1,050千人(2015年)、面積122km²、人口密度は8,583人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 横浜南部の総人口は2025年に1,005千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に902千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて178千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 横浜南部の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値53)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 横浜南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.37で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。横浜南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の神奈川県立こども医療センター(Ⅲ群)、横浜市立みなと赤十字病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市南部病院(Ⅱ群)、横浜南共済病院(Ⅱ群・救命)、横浜市立大学附属市民総合医療センター(Ⅱ群・救命)、横浜市立大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の横浜栄共済病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO横浜中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 横浜南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,383人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,451床(偏差値35)、高齢者住宅等が4,932床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,082人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム59、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住36である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,897人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-59%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横浜南部医療圏の総人口は、2005年1,056,811人が、2015年に1,049,504人と1%減少し、2025年の人口が1,005,322人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

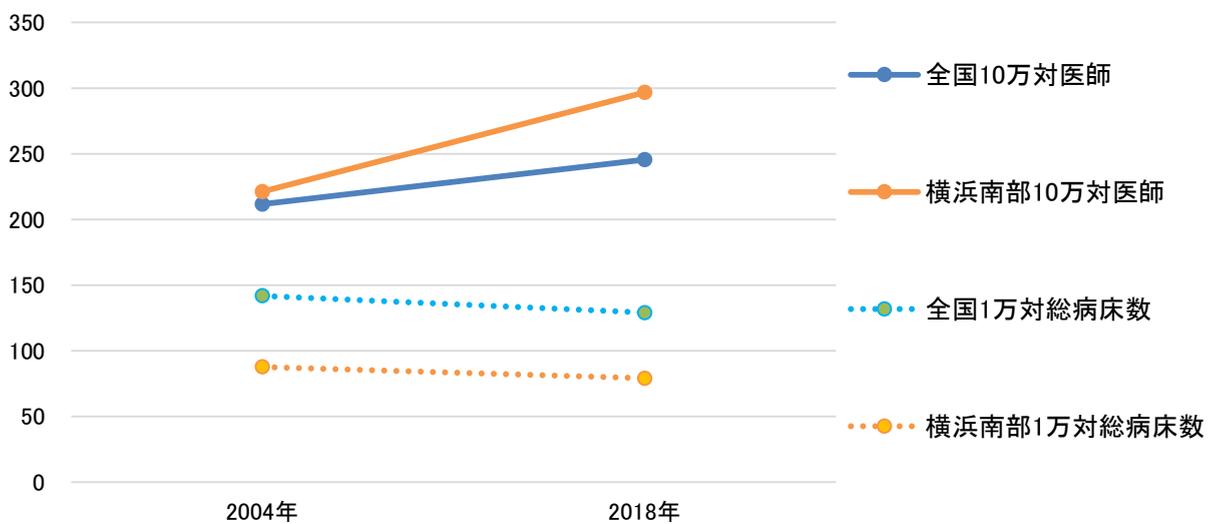
2004年の病院数が38(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2018年に35(人口10万人当たり3.3病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が831(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に887(人口10万人当たり85診療所(全国平均80)偏差値52)と、56診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,274床(人口1万人当たり88(全国平均142)偏差値40)であったが、2018年に8,307床(人口1万人当たり79(全国平均129)偏差値41)と、967床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

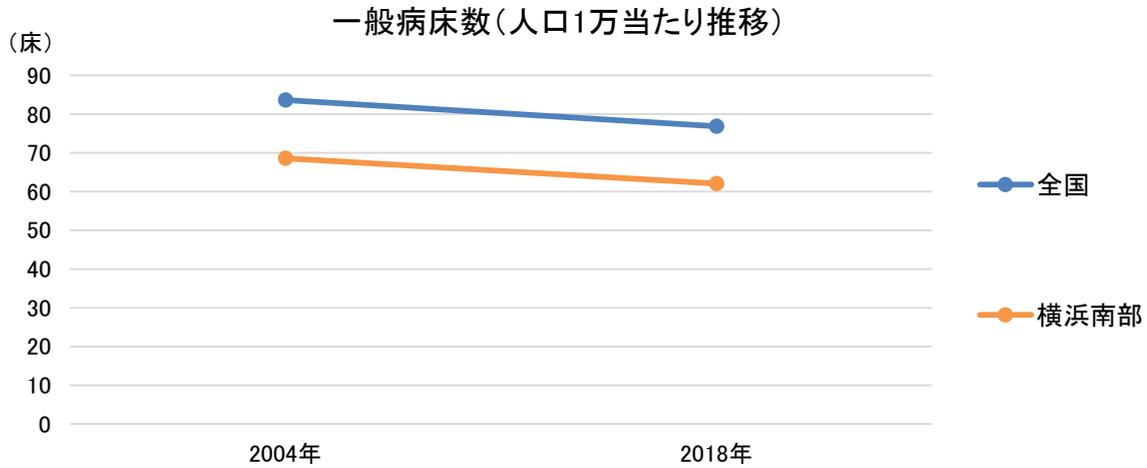
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,337人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に3,113人(人口10万人当たり297人(全国平均245人)偏差値56)と、776人の増加、率にして33%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



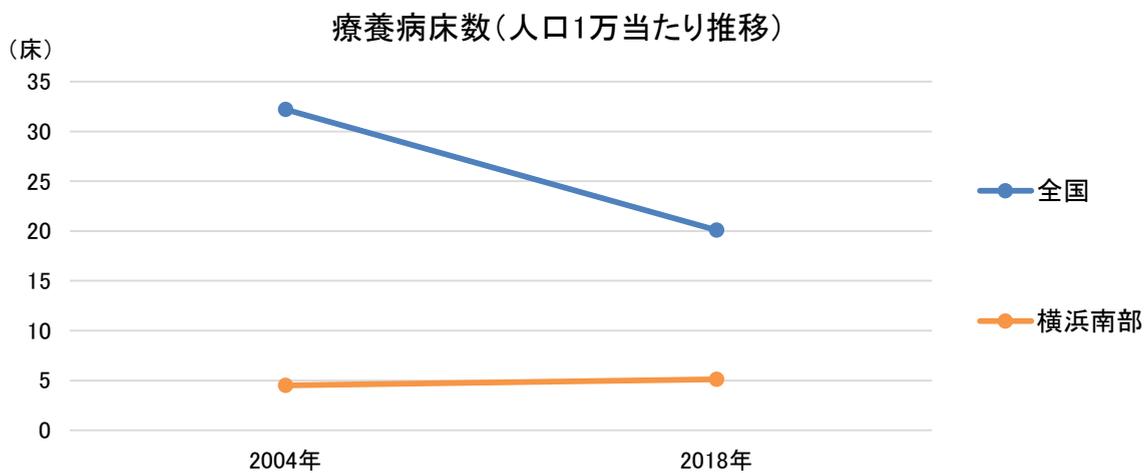
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,247床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2018年に6,514床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、733床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



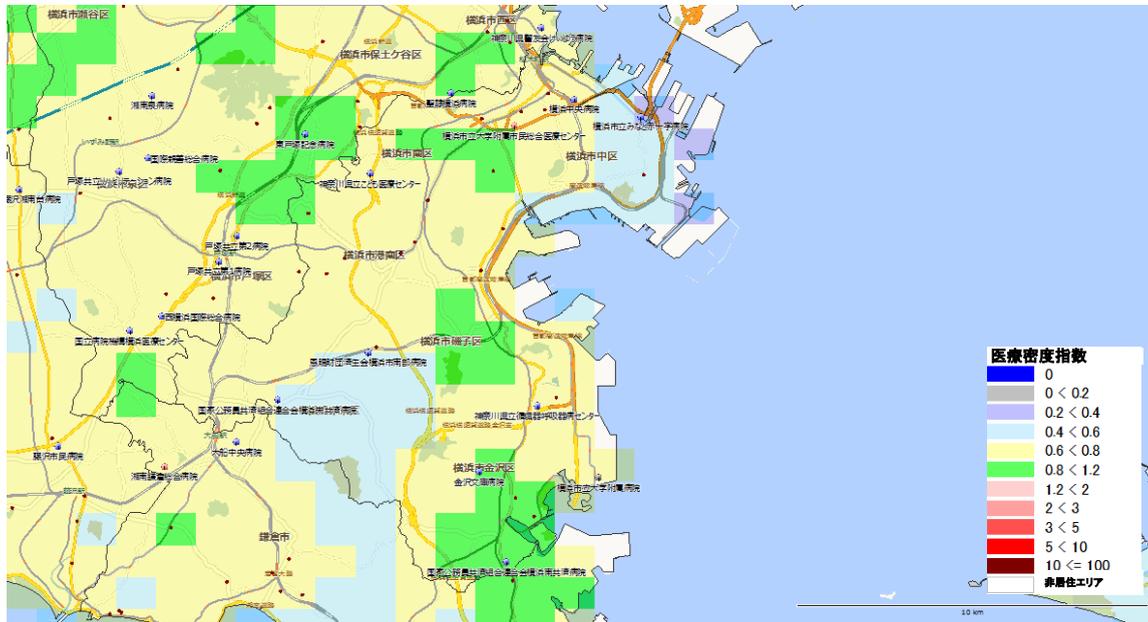
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1,000人当たり4(全国平均32)偏差値34)であったが、2018年に651床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値36)と、295床の増加、率にして83%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



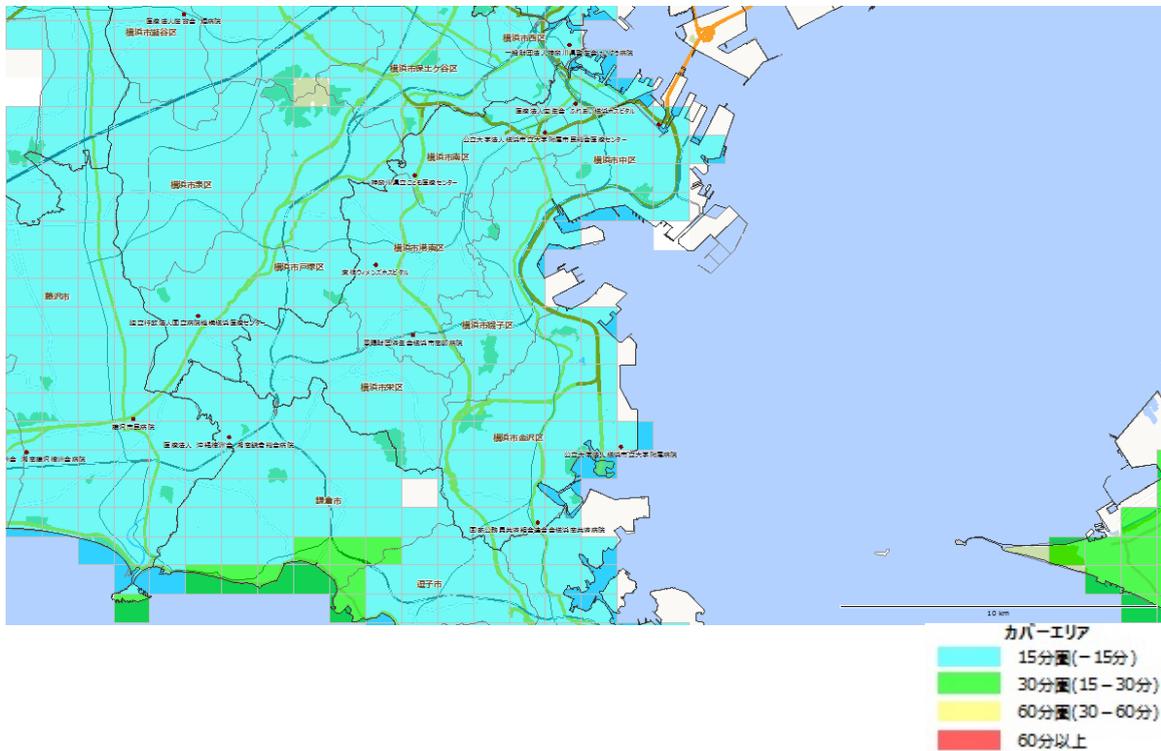
(横浜南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

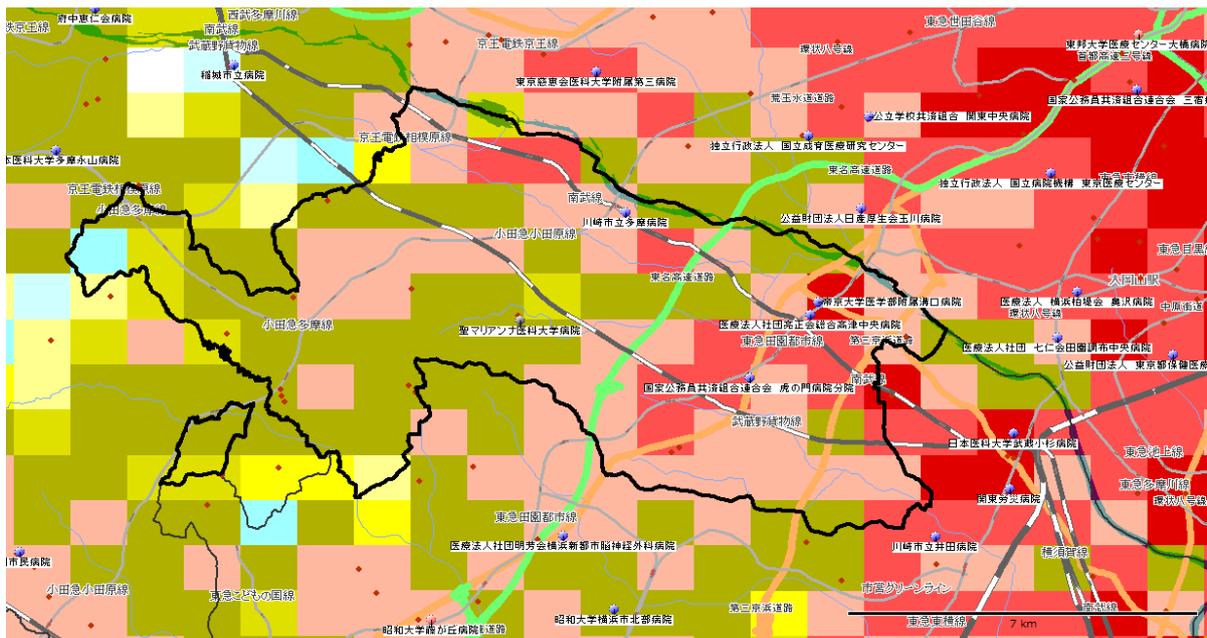


14-4. 川崎北部医療圏

構成市区町村 [高津区](#) [多摩区](#) [宮前区](#) [麻生区](#)

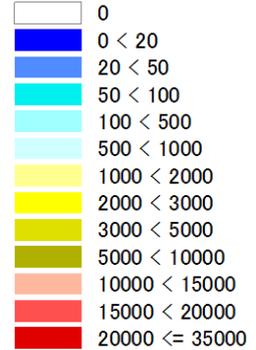
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(川崎北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎北部(川崎市高津区)は、総人口約843千人(2015年)、面積79km²、人口密度は10,714人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎北部の総人口は2025年に876千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に873千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の76千人が、2025年にかけて121千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には148千人へと増加する(2025年比+22%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎北部の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値43)、介護給付費は256千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は0.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。川崎北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の新百合ヶ丘総合病院(Ⅲ群)、帝京大学医学部附属溝口病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の川崎市立多摩病院(Ⅲ群)、500例以上の総合高津中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,741人(75歳以上1,000人当たりの偏差値88)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,454床(偏差値48)、高齢者住宅等が8,287床(偏差値92)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,155人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム106、軽費ホーム57、グループホーム57、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,041人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(川崎北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

川崎北部医療圏の総人口は、2005年768,177人が、2015年に843,416人と10%増加し、2025年の人口が875,777人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に25%増加し、2015年から2025年にかけて15%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

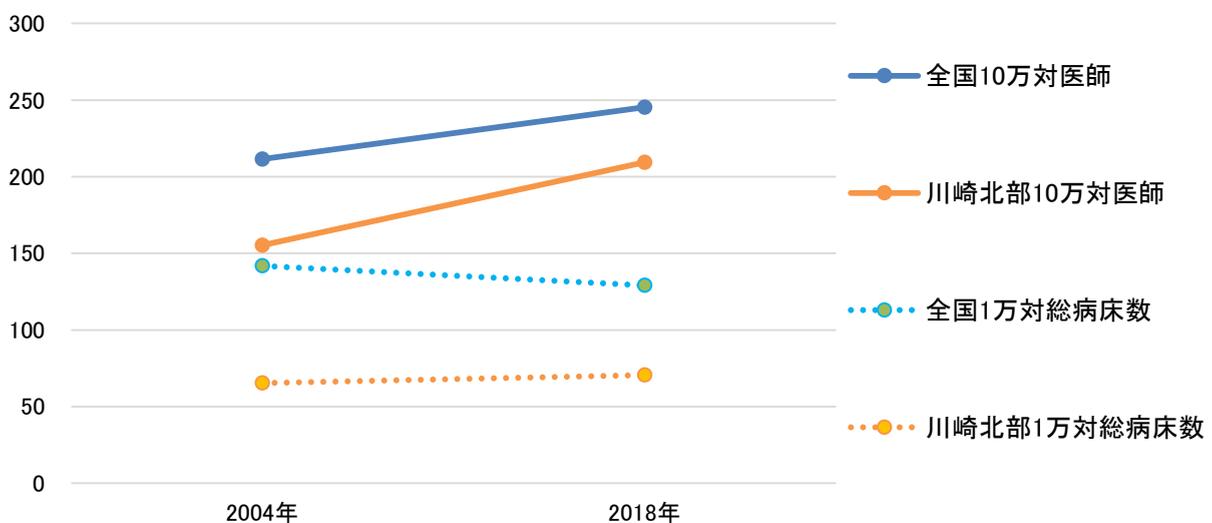
2004年の病院数が18(人口10万人当たり2.3病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2018年に20(人口10万人当たり2.4病院(全国平均6.6)偏差値39)となり、14年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が419(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2018年に523(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値40)と、104診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,029床(人口1万人当たり65(全国平均142)偏差値36)であったが、2018年に5,959床(人口1万人当たり71(全国平均129)偏差値39)と、930床の増加、率にして18%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,193人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に1,766人(人口10万人当たり209人(全国平均245人)偏差値46)と、573人の増加、率にして48%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

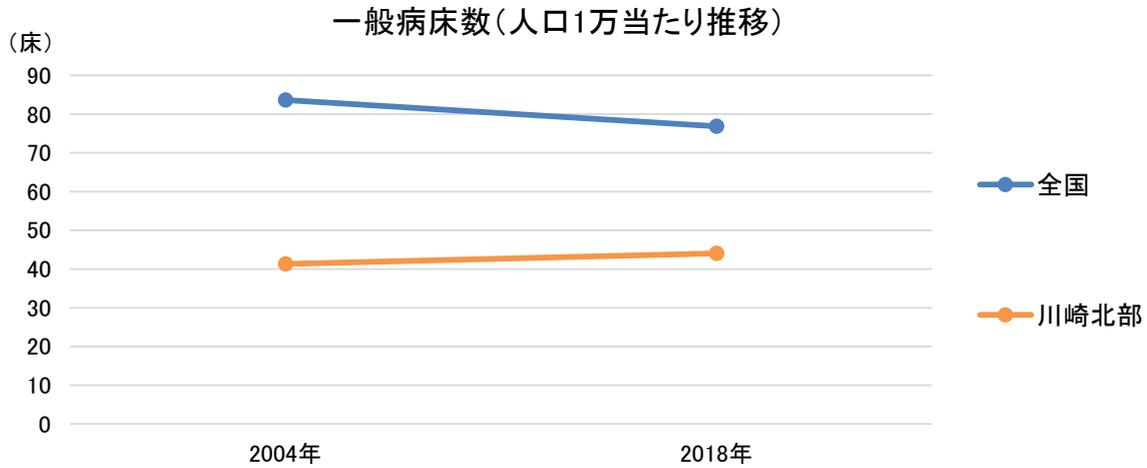
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

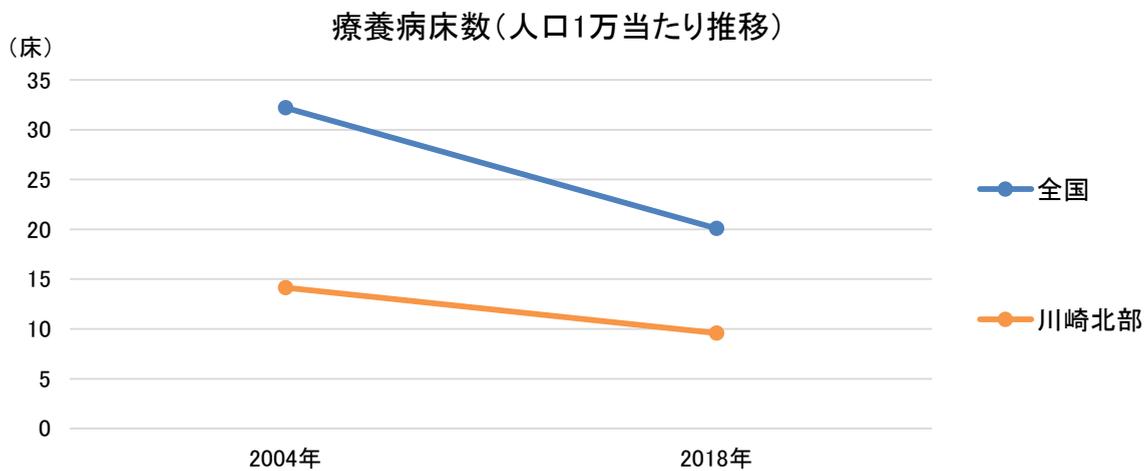
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,174床(人口1万人当たり41(全国平均84)偏差値35)であったが、2018年に3,716床(人口1万人当たり44(全国平均77)偏差値37)と、542床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



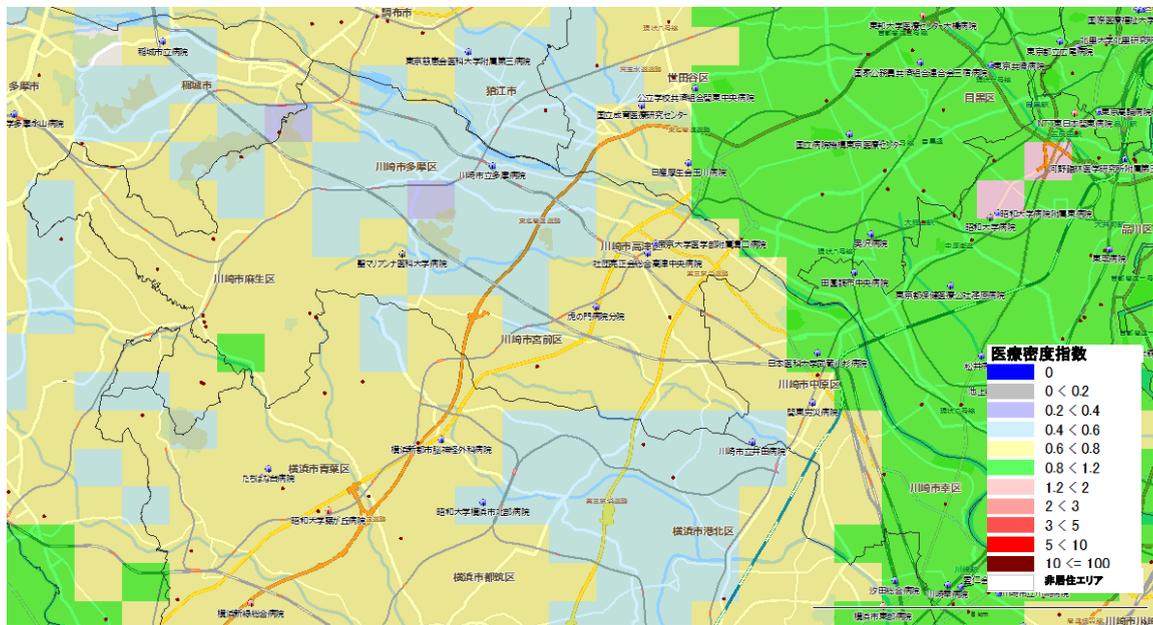
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が569床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に723床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、154床の増加、率にして27%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



(川崎北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

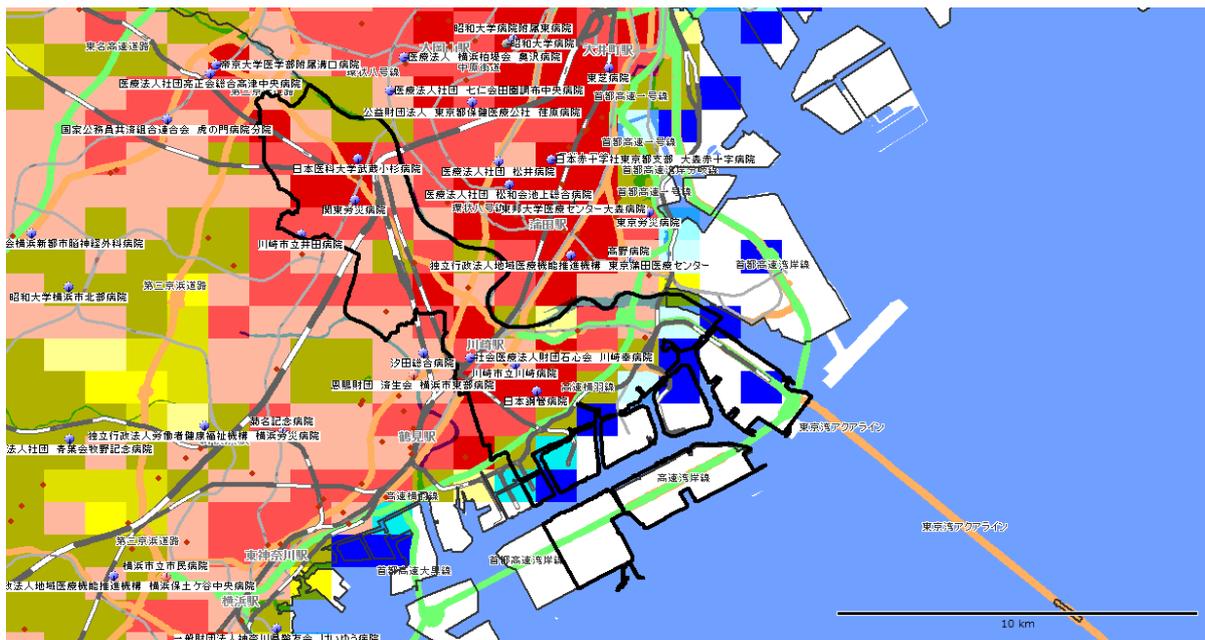


14-5. かわさきなんぶ 川崎南部医療圏

構成市区町村 [川崎市](#) [幸区](#) [中原区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(川崎南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎南部(川崎市川崎区)は、総人口約632千人(2015年)、面積64km²、人口密度は9,829人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎南部の総人口は2025年に670千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年に689千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎南部の一人当たり医療費(国保)は338千円(偏差値46)、介護給付費は256千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は59と多い。川崎南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本医科大学武蔵小杉病院(Ⅲ群・救命)、関東労災病院(Ⅲ群)、日本鋼管病院(Ⅲ群)、川崎市立川崎病院(Ⅲ群・救命)、川崎幸病院(Ⅱ群)、1000例以上の第一病院(Ⅲ群)、太田総合病院(Ⅲ群)、500例以上の川崎市立井田病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,303人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,147床(偏差値31)、高齢者住宅等が3,156床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,826人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設31、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム63、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、956人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(川崎南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

川崎南部医療圏の総人口は、2005年558,834人が、2015年に631,797人と13%増加し、2025年の人口が670,119人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

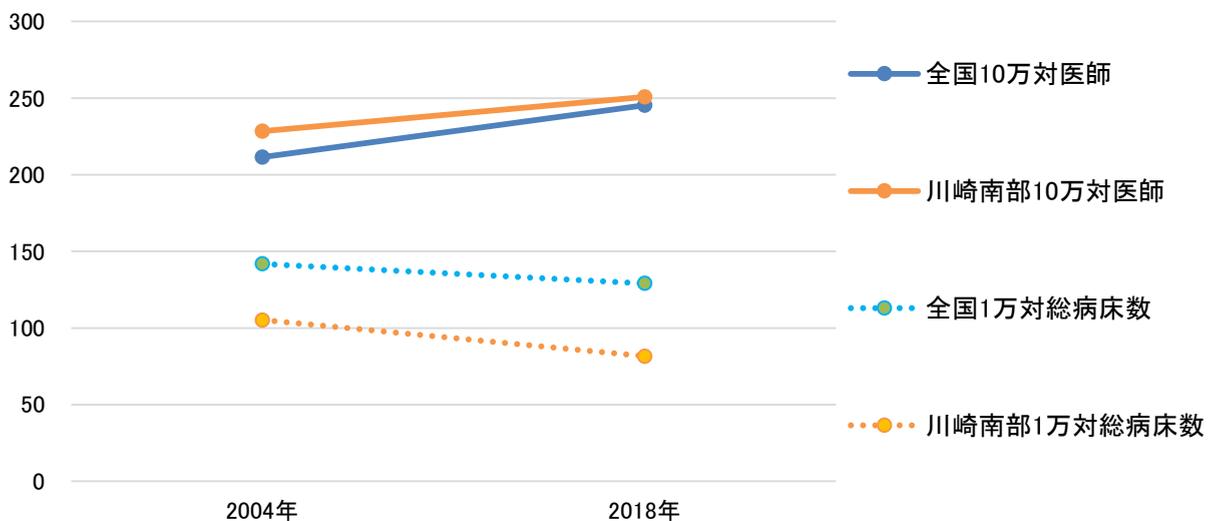
2004年の病院数が26(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2018年に19(人口10万人当たり3病院(全国平均6.6)偏差値41)となり、14年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が442(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に464(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、22診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,879床(人口1万人当たり105(全国平均142)偏差値43)であったが、2018年に5,155床(人口1万人当たり82(全国平均129)偏差値41)と、724床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

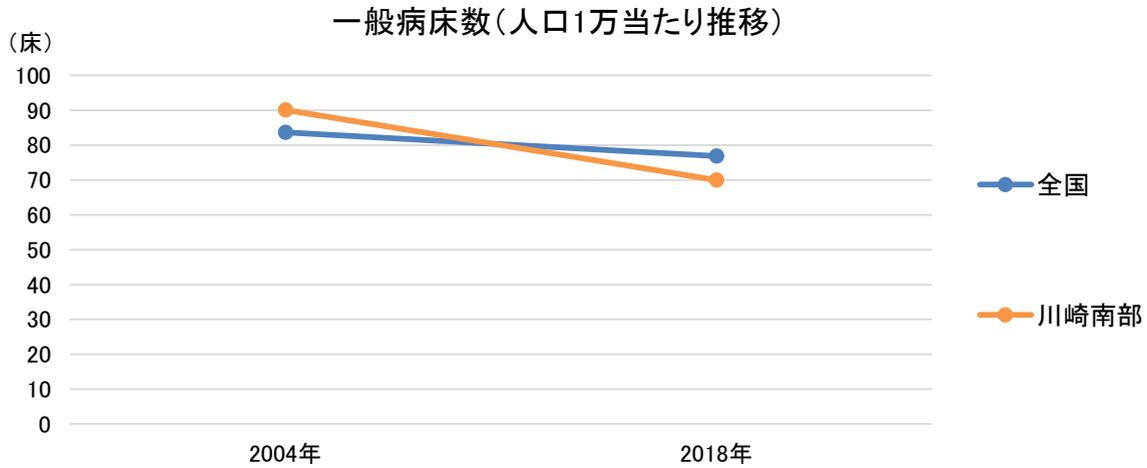
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,277人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2018年に1,584人(人口10万人当たり251人(全国平均245人)偏差値51)と、307人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



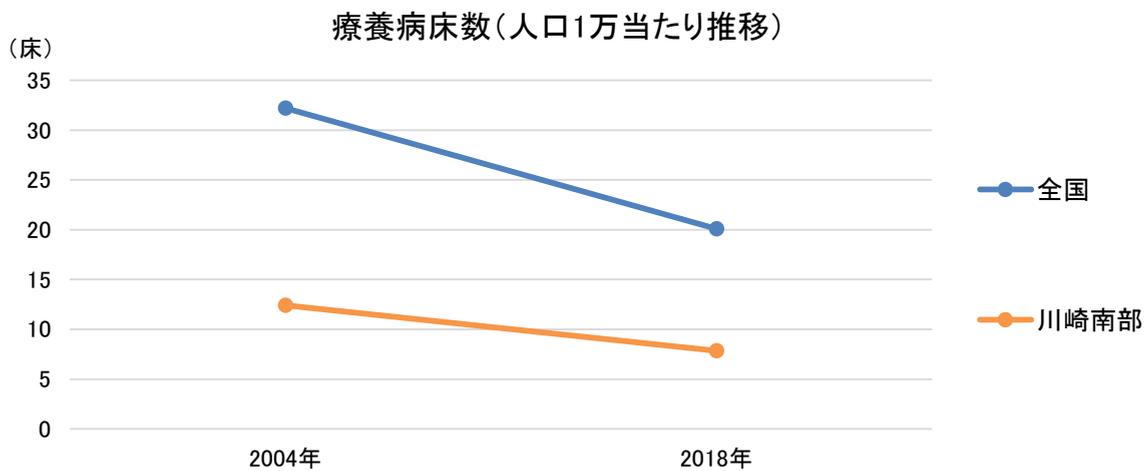
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,034床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に4,420床(人口1万人当たり70(全国平均77)偏差値47)と、614床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



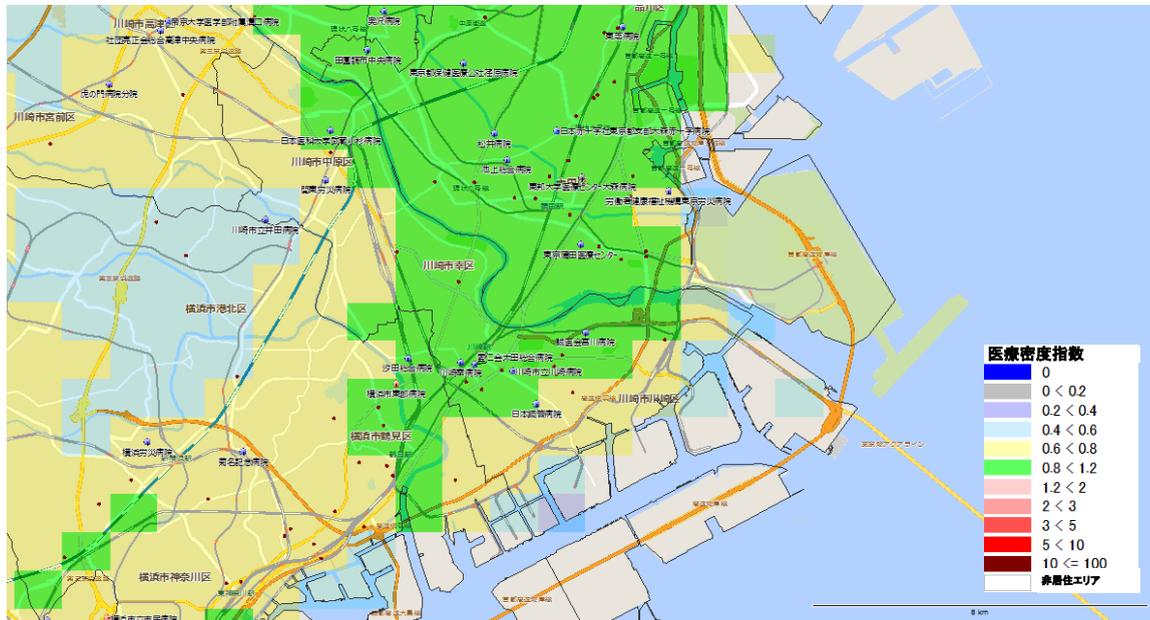
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が474床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に445床(75歳以上1,000人当たり8(全国平均20)偏差値39)と、29床の減少、率にして6%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



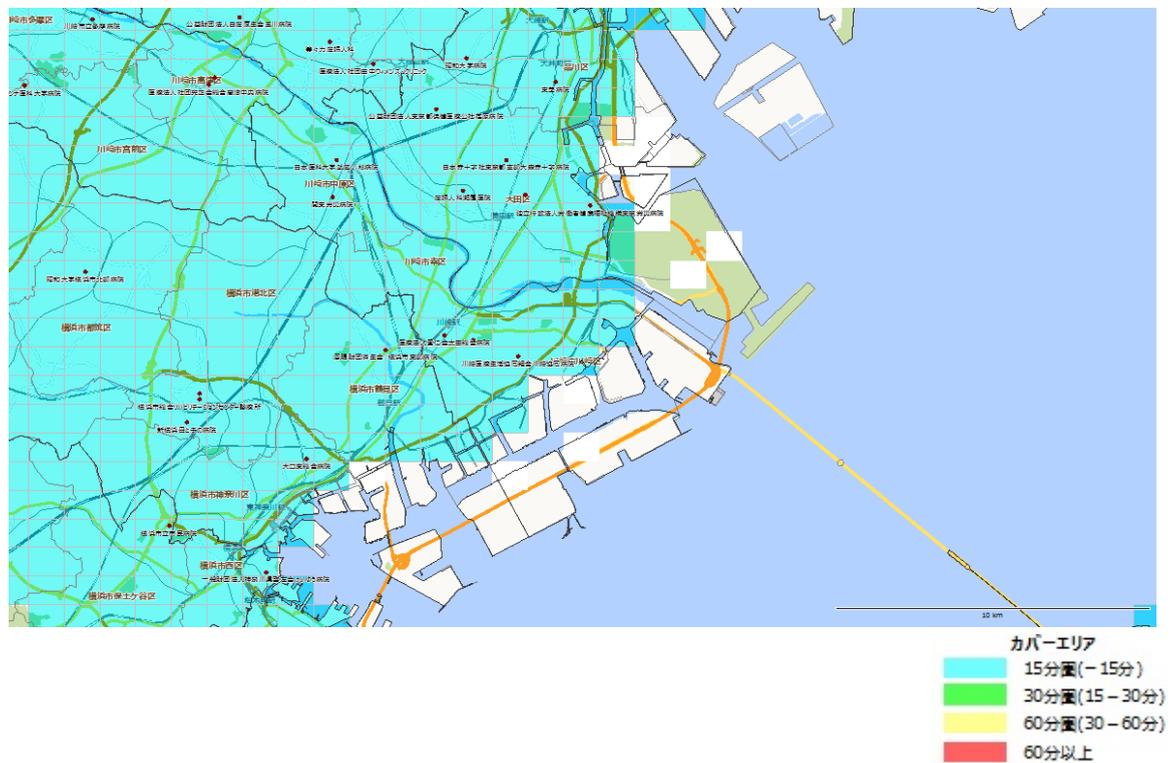
(川崎南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

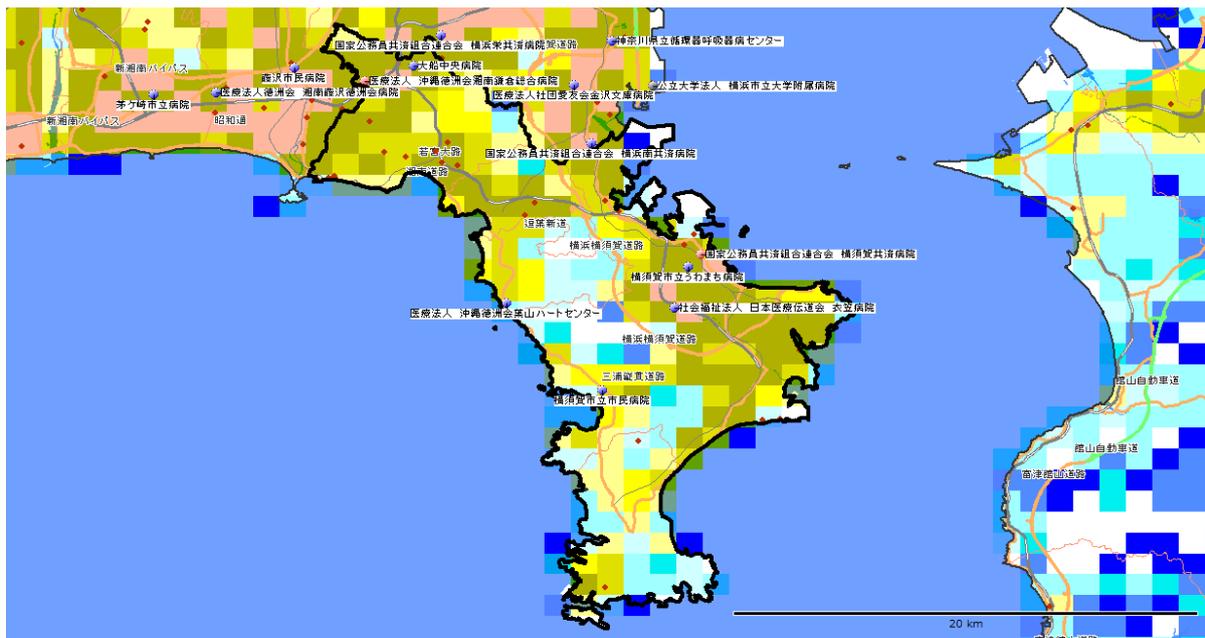


14-6. よこすか みうら 横須賀・三浦医療圏

構成市区町村 [横須賀市](#) [鎌倉市](#) [逗子市](#) [三浦市](#)
[葉山町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(横須賀・三浦医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横須賀・三浦(横須賀市)は、総人口約714千人(2015年)、面積207km²、人口密度は3,453人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横須賀・三浦の総人口は2025年に661千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に564千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の106千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には124千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横須賀・三浦の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値51)、介護給付費は244千円(偏差値47)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横須賀・三浦の一人当たり急性期医療密度指数は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。横須賀・三浦には、年間全身麻酔件数が2000例以上の湘南鎌倉総合病院(Ⅱ群・救命)、横須賀共済病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の横須賀市立うわまち病院(Ⅲ群・救命)、横須賀市立市民病院(Ⅲ群)、500例以上の大船中央病院(Ⅲ群)、よこすか浦賀病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横須賀・三浦の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,821人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,385床(偏差値41)、高齢者住宅等が5,436床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,625人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム69、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,195人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(横須賀・三浦医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

横須賀・三浦医療圏の総人口は、2005年736,761人が、2015年に714,415人と3%減少し、2025年の人口が661,310人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

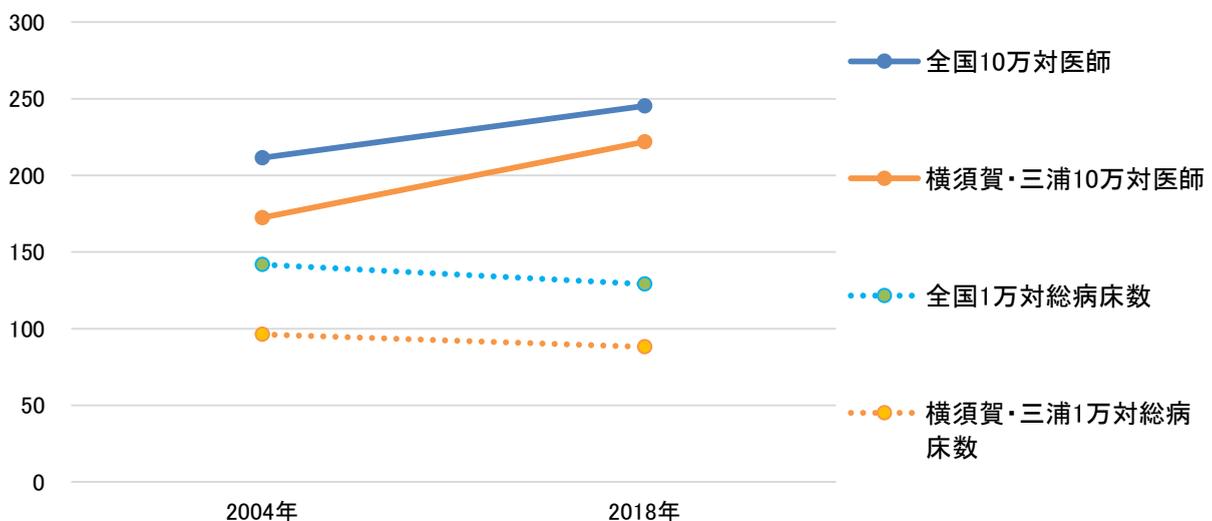
2004年の病院数が32(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2018年に28(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が575(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に547(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、28診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,097床(人口1万人当たり96(全国平均142)偏差値42)であったが、2018年に6,302床(人口1万人当たり88(全国平均129)偏差値42)と、795床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,271人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に1,585人(人口10万人当たり222人(全国平均245人)偏差値47)と、314人の増加、率にして25%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

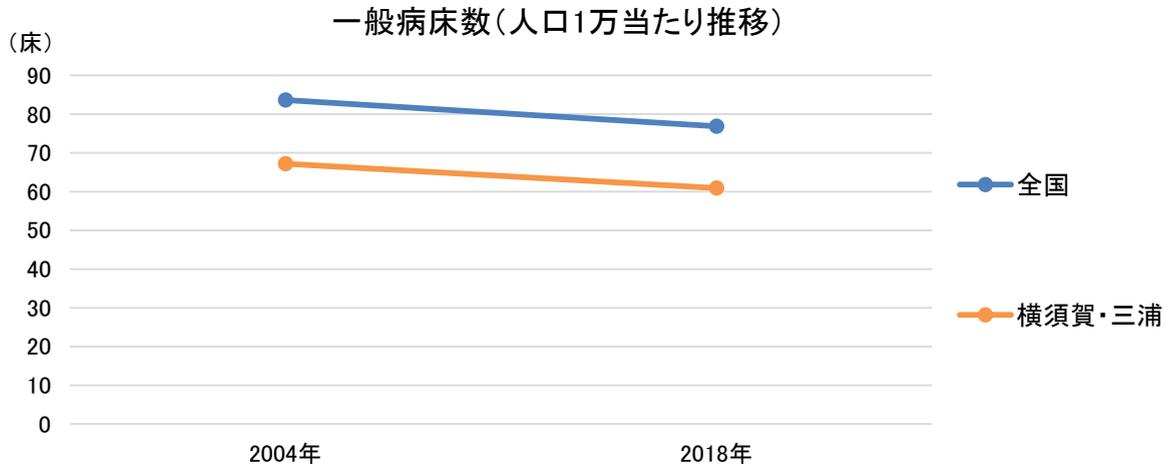
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

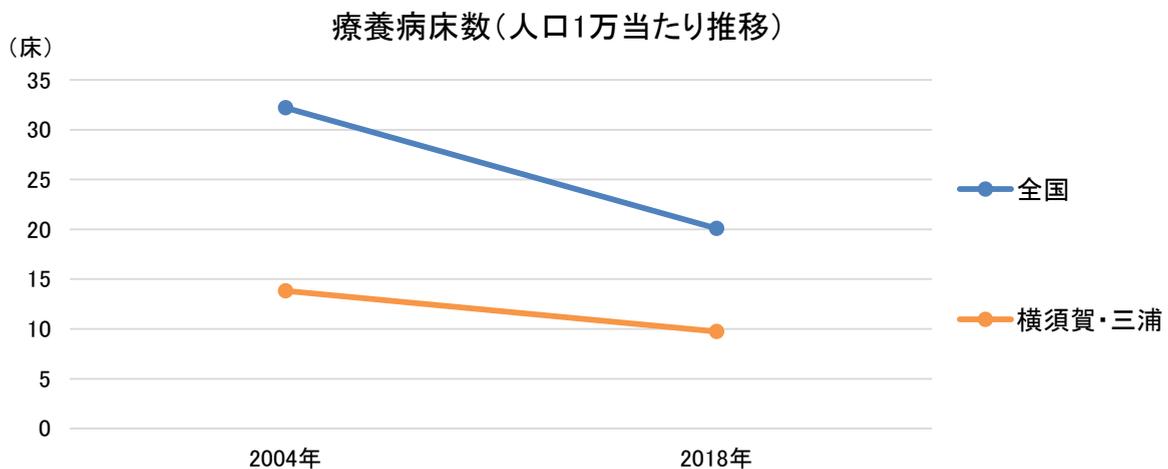
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,954床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に4,350床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、604床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



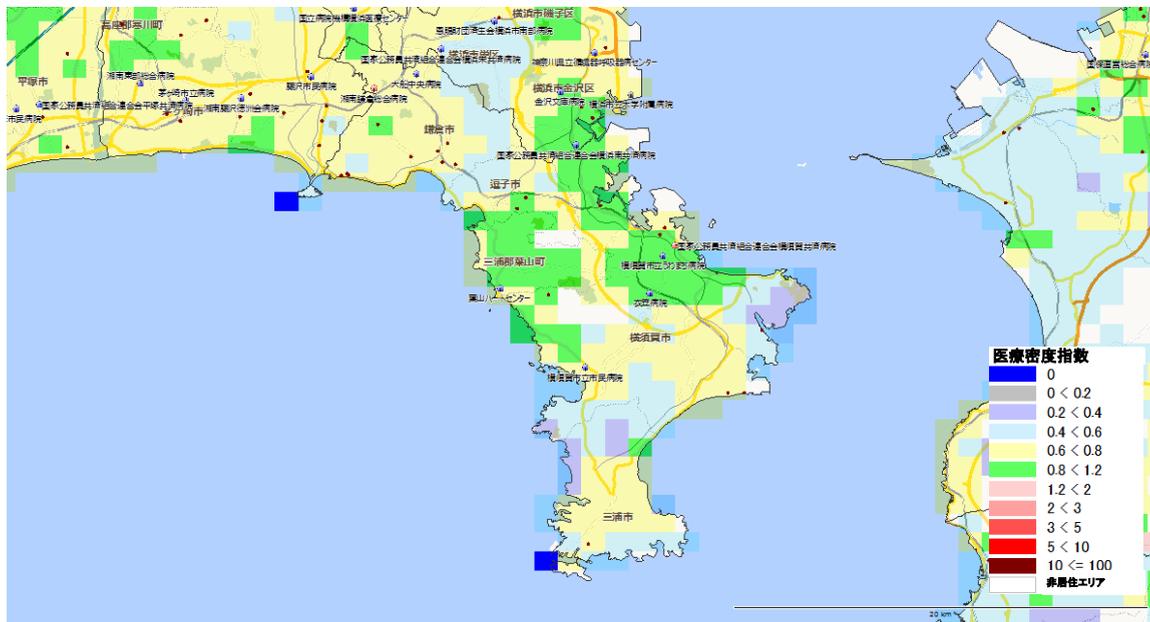
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が998床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に1,032床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、34床の増加、率にして3%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



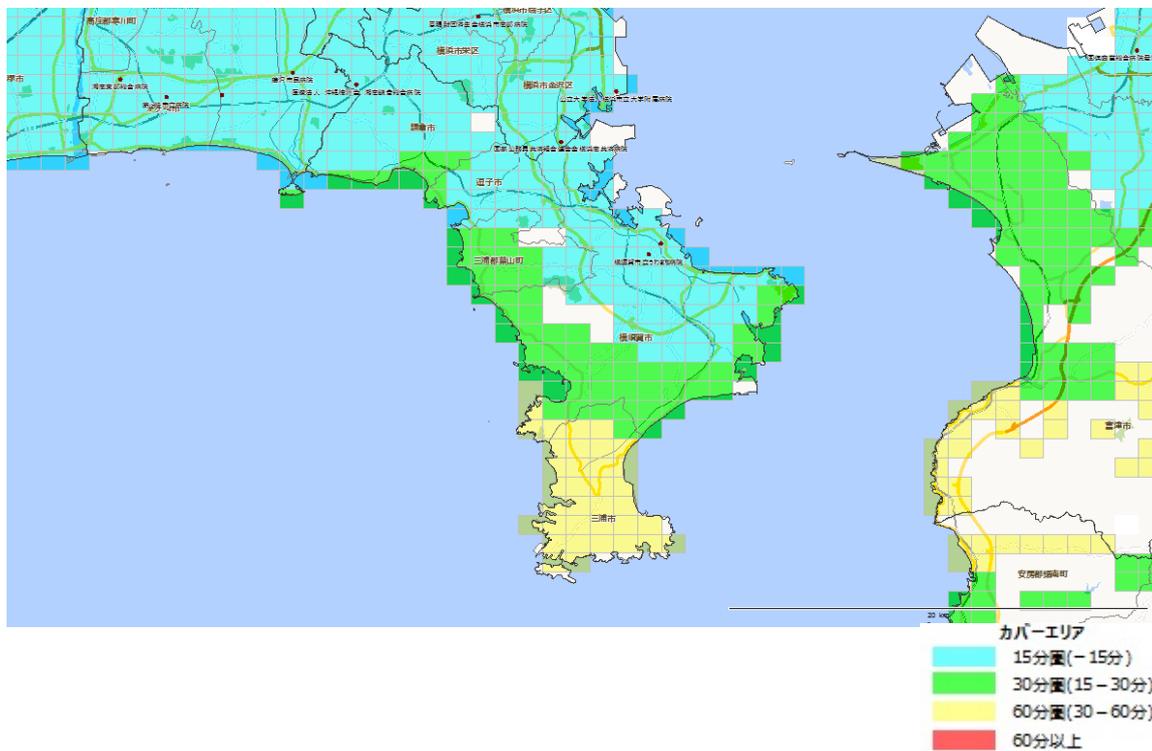
(横須賀・三浦医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

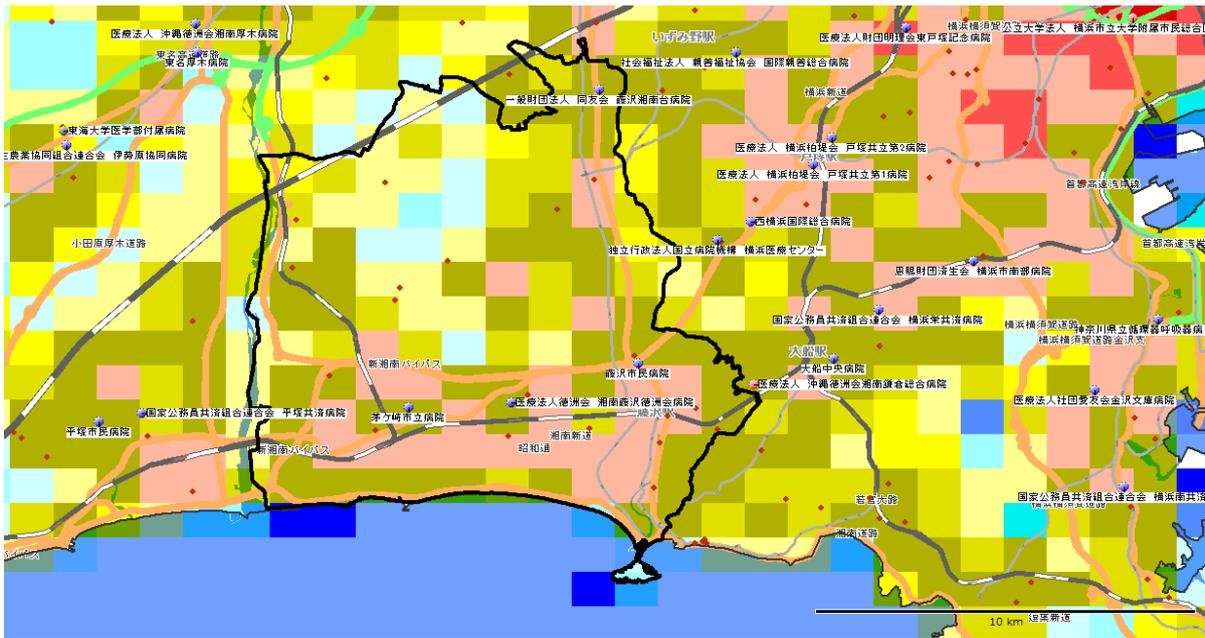


14-7. しょうなんとうぶ 湘南東部医療圏

構成市区町村 [藤沢市](#) [茅ヶ崎市](#) [寒川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(湘南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：湘南東部(藤沢市)は、総人口約711千人(2015年)、面積119km²、人口密度は5,996人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：湘南東部の総人口は2025年に724千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に701千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて117千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には126千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：湘南東部の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値43)、介護給付費は208千円(偏差値36)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：湘南東部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が44(病院医師数41、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。湘南東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の湘南藤沢徳洲会病院(Ⅲ群)、藤沢市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の茅ヶ崎市立病院(Ⅲ群)、藤沢湘南台病院(Ⅲ群)、500例以上の湘南東部総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：湘南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,380人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,784床(偏差値40)、高齢者住宅等が4,596床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,598人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム62、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住59である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、989人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南東部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湘南東部医療圏の総人口は、2005年671,891人が、2015年に711,178人と6%増加し、2025年の人口が723,768人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

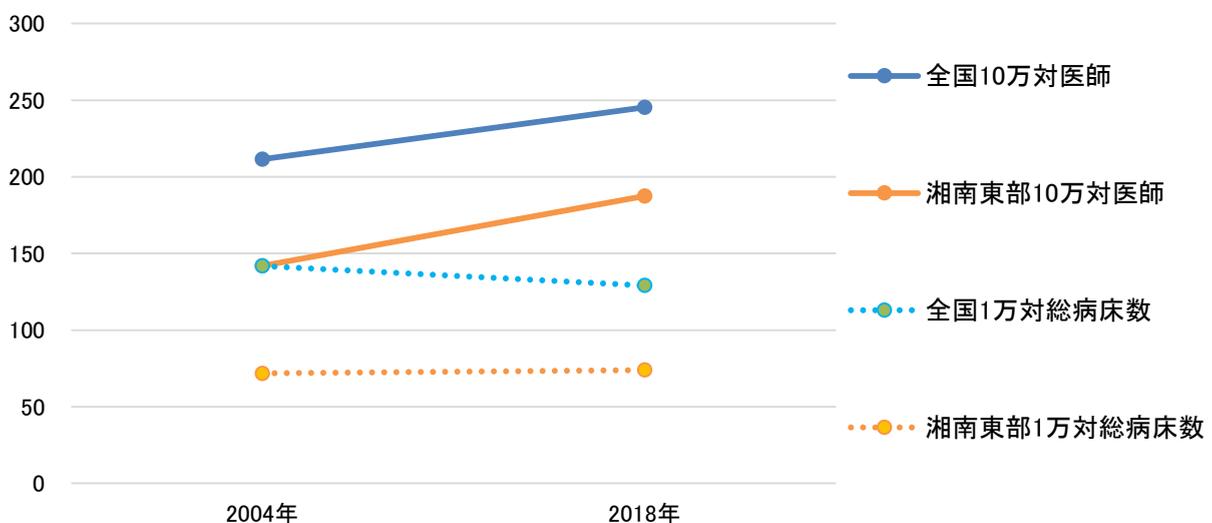
2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.4病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2018年に24(人口10万人当たり3.4病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、14年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が496(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2018年に588(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値51)と、92診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,821床(人口1万人当たり72(全国平均142)偏差値37)であったが、2018年に5,262床(人口1万人当たり74(全国平均129)偏差値40)と、441床の増加、率にして9%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

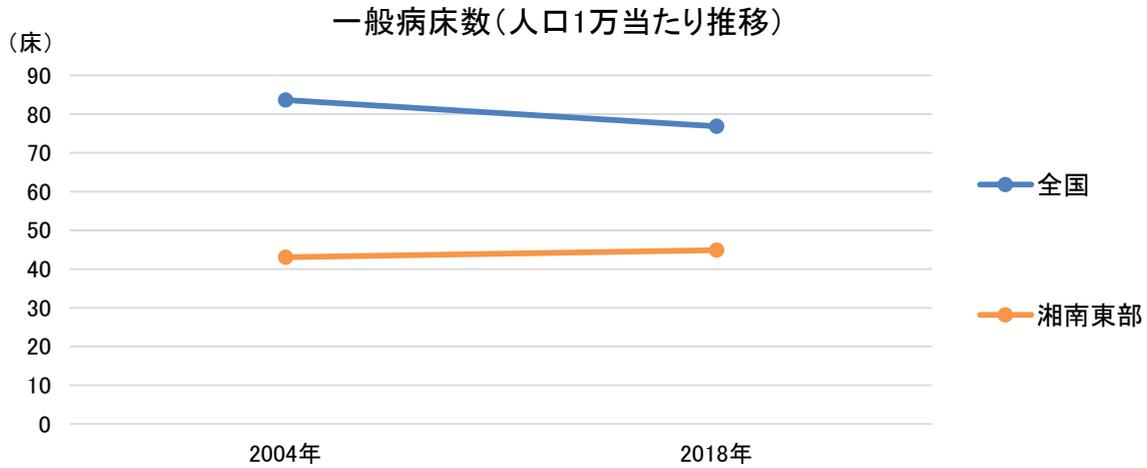
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が954人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に1,334人(人口10万人当たり188人(全国平均245人)偏差値44)と、380人の増加、率にして40%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



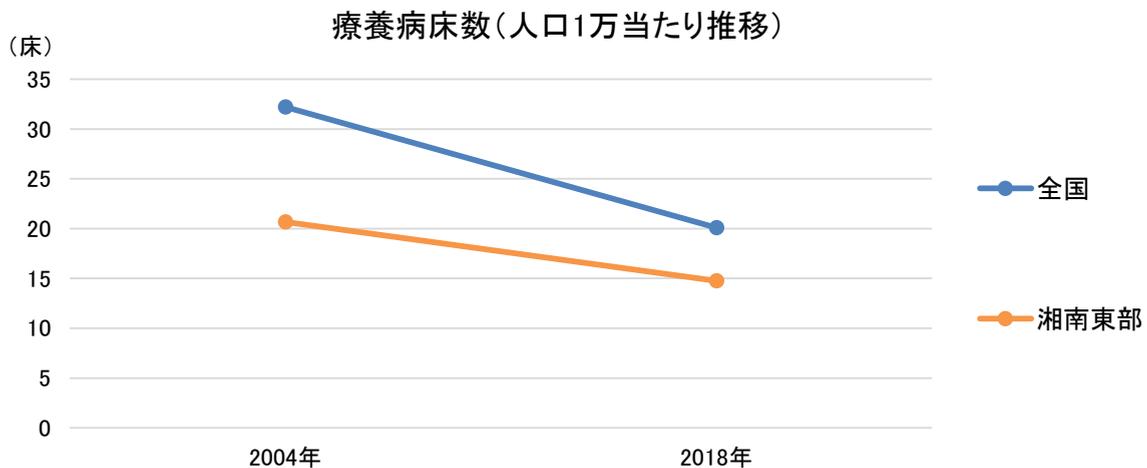
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,894床(人口1万人当たり43(全国平均84)偏差値36)であったが、2018年に3,192床(人口1万人当たり45(全国平均77)偏差値38)と、298床の増加、率にして10%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が952床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に1,151床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、199床の増加、率にして21%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



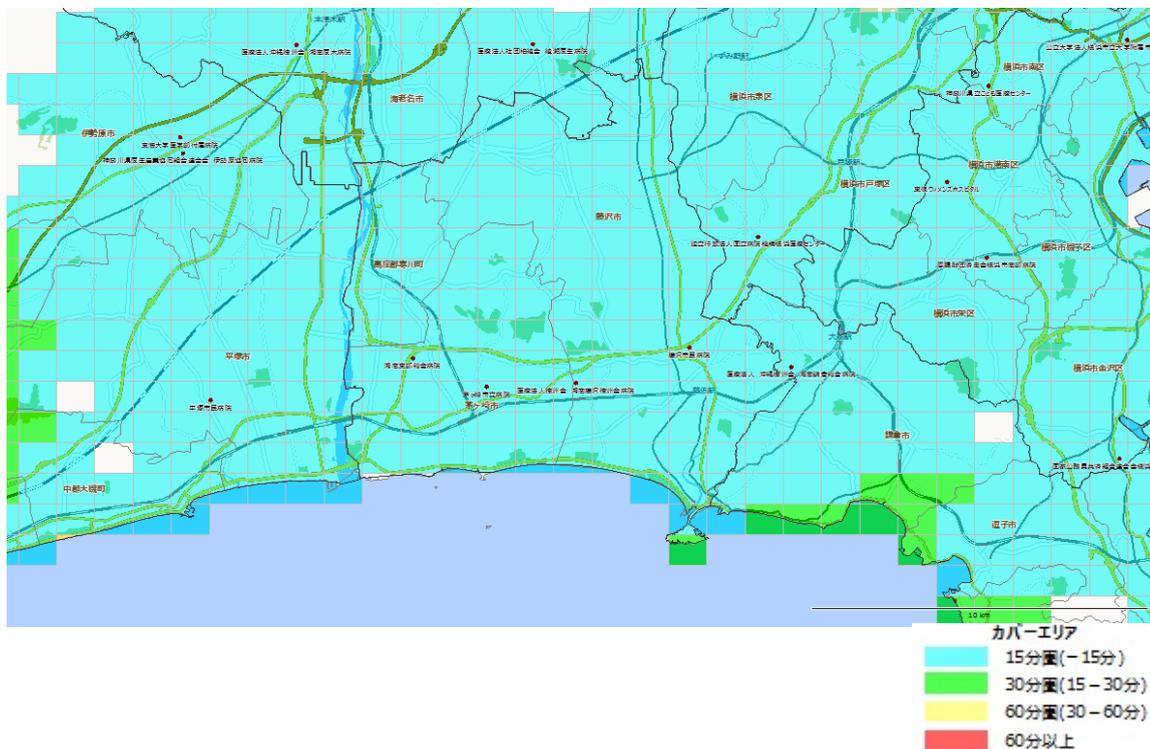
(湘南東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

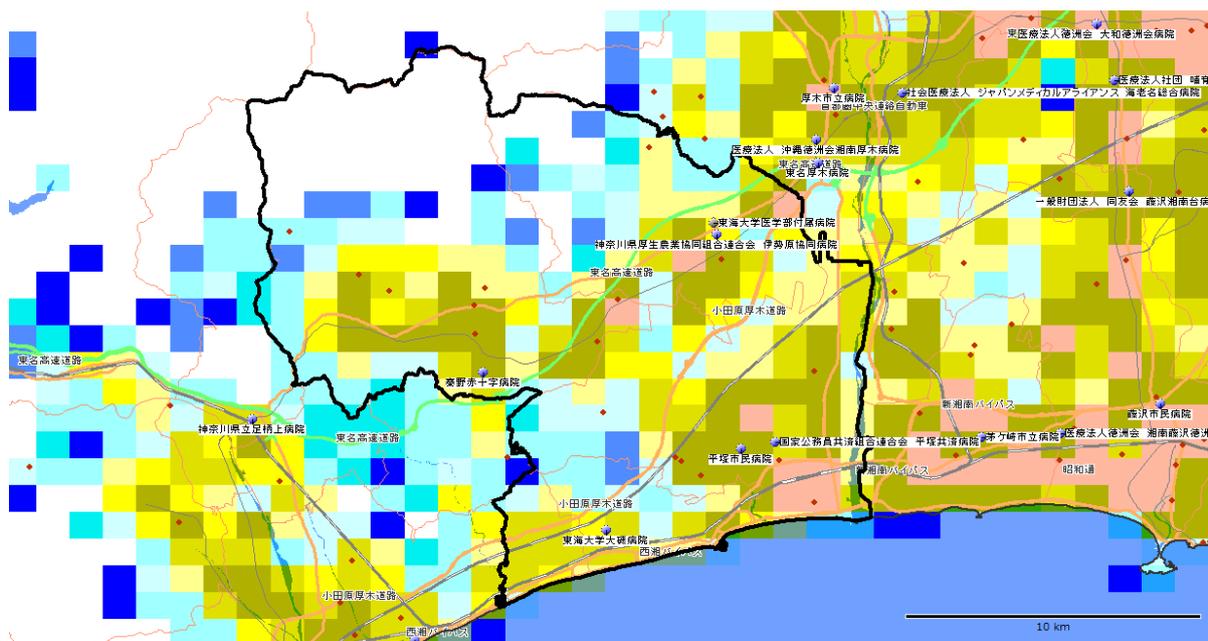


14-8. しょうなんせいぶ 湘南西部医療圏

構成市区町村 [平塚市](#) [秦野市](#) [伊勢原市](#) [大磯町](#)
[二宮町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(湘南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 湘南西部(平塚市)は、総人口約587千人(2015年)、面積253km²、人口密度は2,317人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 湘南西部の総人口は2025年に560千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に490千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の67千人が、2025年にかけて106千人へと増加し(2015年比+58%)、2040年には108千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 湘南西部の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値48)、介護給付費は213千円(偏差値38)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 湘南西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.67で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数53、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。湘南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の平塚市民病院(Ⅲ群・救命)、平塚共済病院(Ⅲ群)、東海大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の伊勢原協同病院(Ⅲ群)、500例以上の秦野赤十字病院(Ⅲ群)、東海大学医学部附属大磯病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 湘南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,849人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,378床(偏差値41)、高齢者住宅等が4,471床(偏差値64)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,071人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム73、軽費ホーム59、グループホーム44、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、684人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

湘南西部医療圏の総人口は、2005年590,691人が、2015年に587,047人と1%減少し、2025年の人口が560,205人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

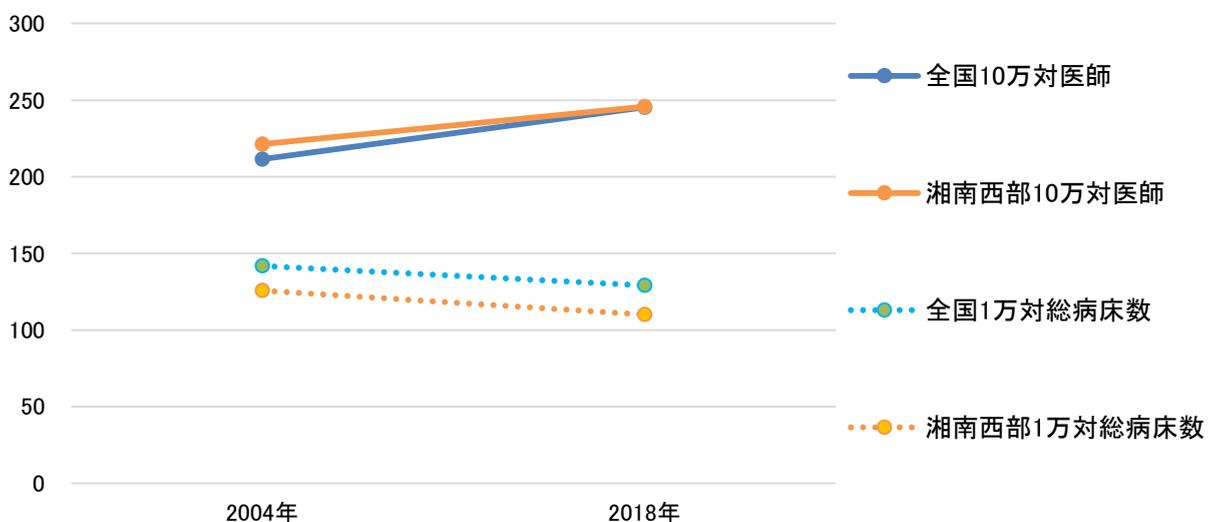
2004年の病院数が21(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2018年に22(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2018年に393(人口10万人当たり67診療所(全国平均80)偏差値43)と、35診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,430床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に6,468床(人口1万人当たり110(全国平均129)偏差値46)と、962床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,307人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に1,443人(人口10万人当たり246人(全国平均245人)偏差値50)と、136人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

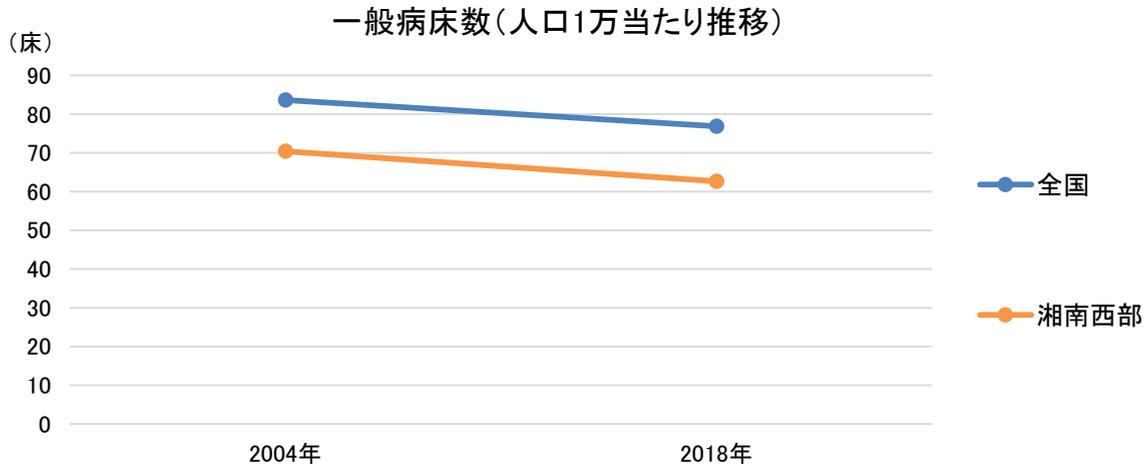
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

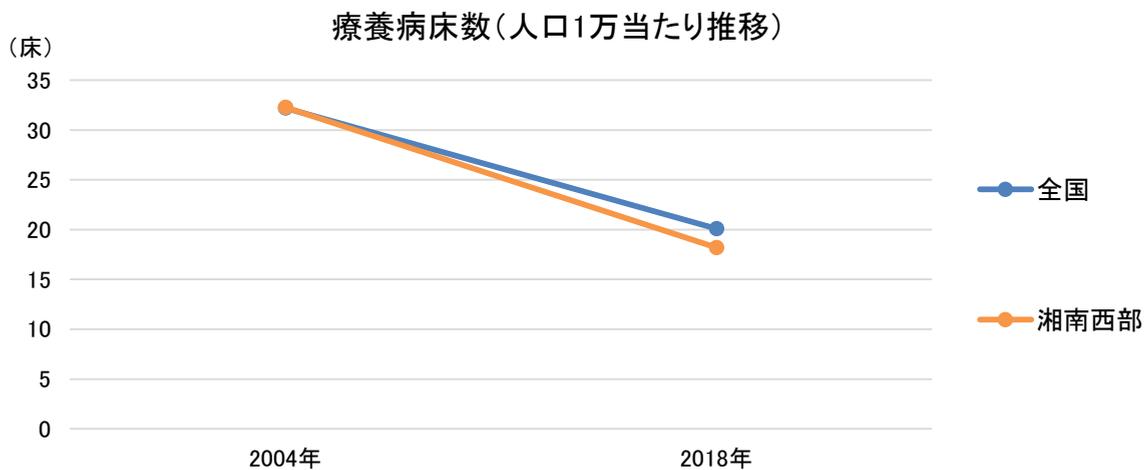
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,159床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2018年に3,680床(人口1万人当たり63(全国平均77)偏差値45)と、479床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



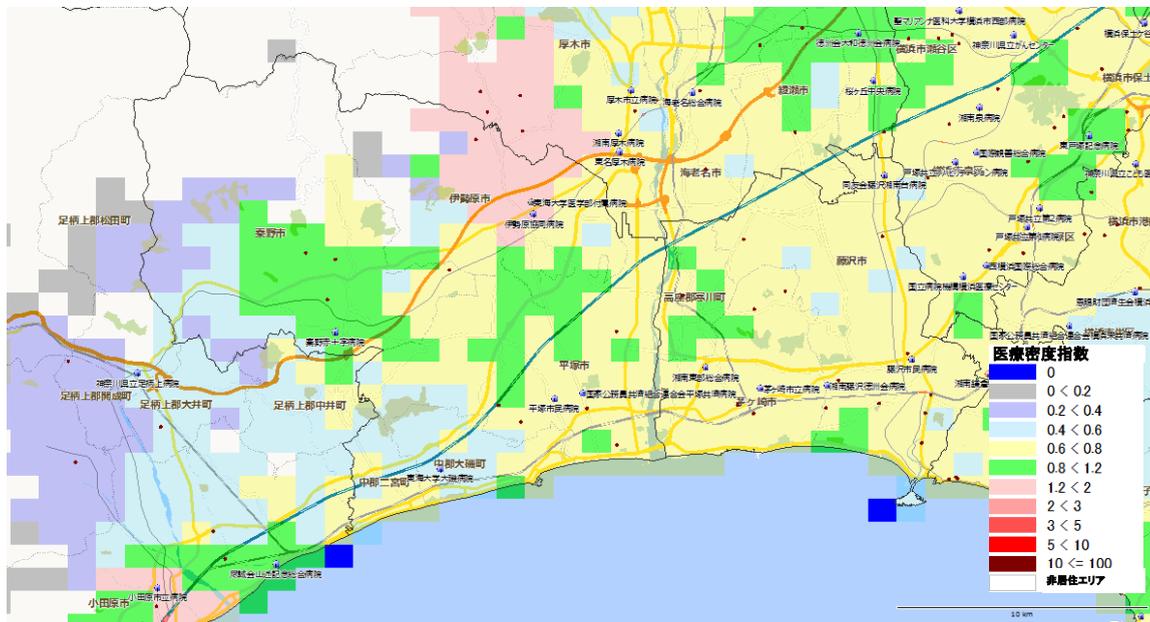
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,348床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2018年に1,228床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、120床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



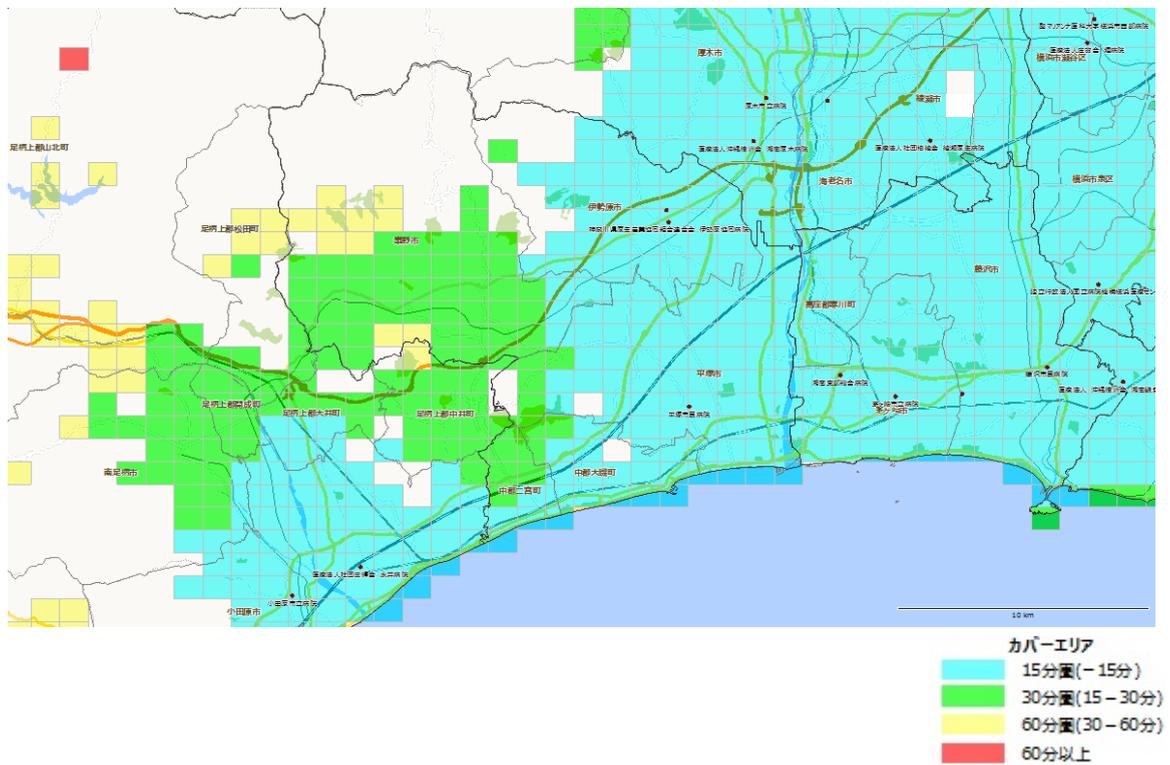
(湘南西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-8-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

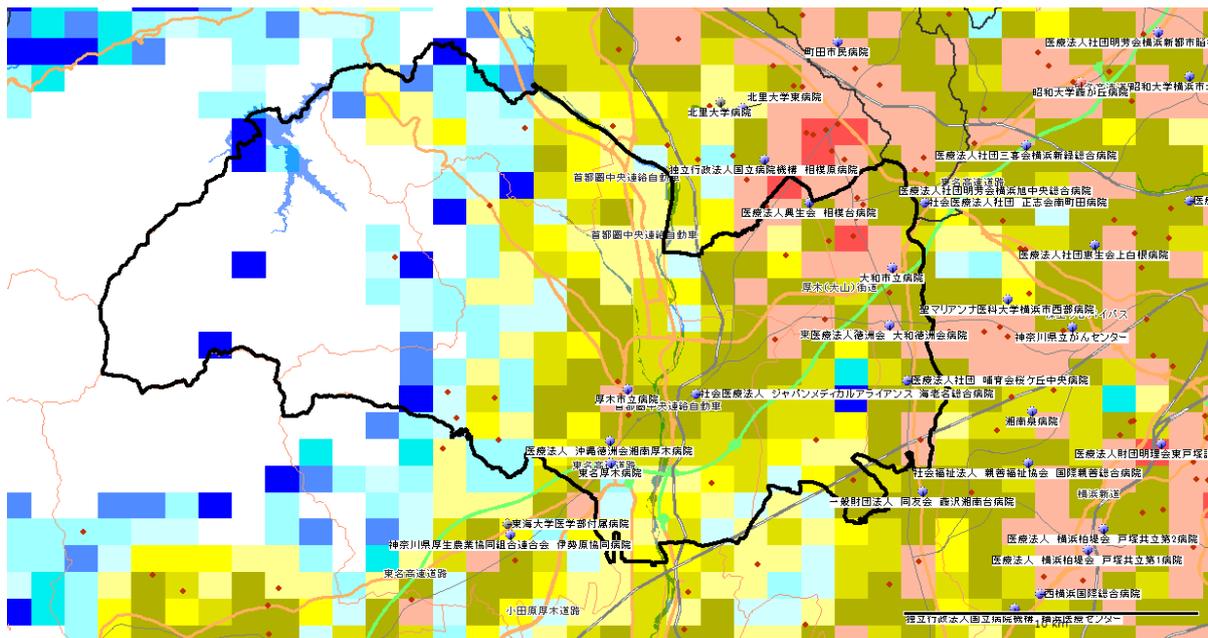


14-9. けんおう 県央医療圏

構成市区町村 [厚木市](#) [大和市](#) [海老名市](#) [座間市](#)
[綾瀬市](#) [愛川町](#) [清川村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(厚木市)は、総人口約846千人(2015年)、面積293km²、人口密度は2,888人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に833千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に767千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の82千人が、2025年にかけて134千人へと増加し(2015年比+63%)、2040年には135千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値43)、介護給付費は200千円(偏差値34)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.93で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数39、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の海老名総合病院(Ⅲ群・救命)、大和市立病院(Ⅲ群)、1000例以上の厚木市立病院(Ⅲ群)、500例以上の相模台病院(Ⅲ群)、湘南厚木病院(Ⅲ群)、東名厚木病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,176人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,562床(偏差値45)、高齢者住宅等が4,614床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,626人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム61、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,045人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年822,880人が、2015年に845,580人と3%増加し、2025年の人口が833,158人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

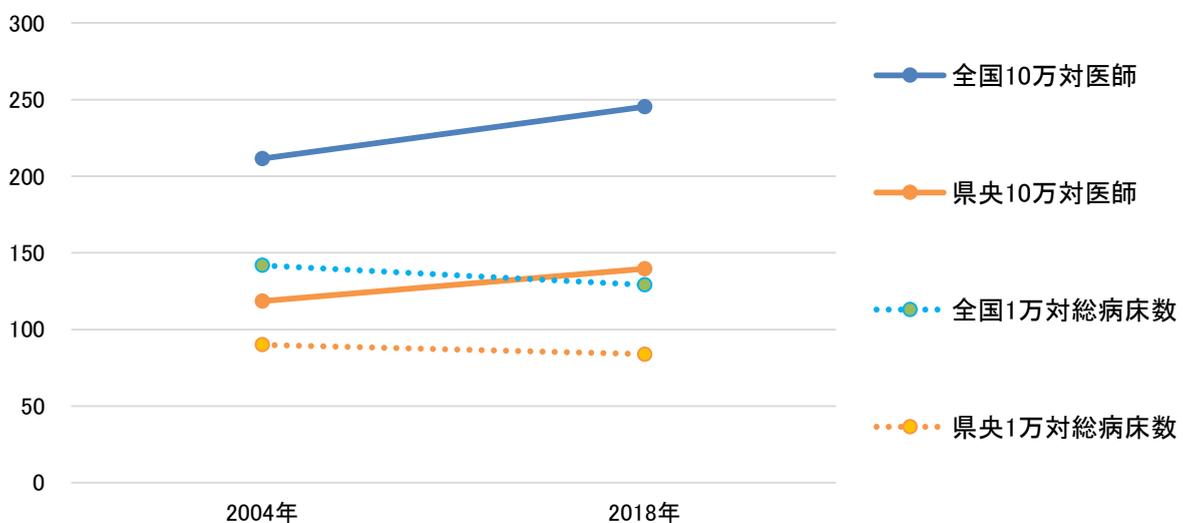
2004年の病院数が36(人口10万人当たり4.4病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2018年に33(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が473(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に540(人口10万人当たり64診療所(全国平均80)偏差値41)と、67診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,409床(人口1万人当たり90(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に7,094床(人口1万人当たり84(全国平均129)偏差値41)と、315床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

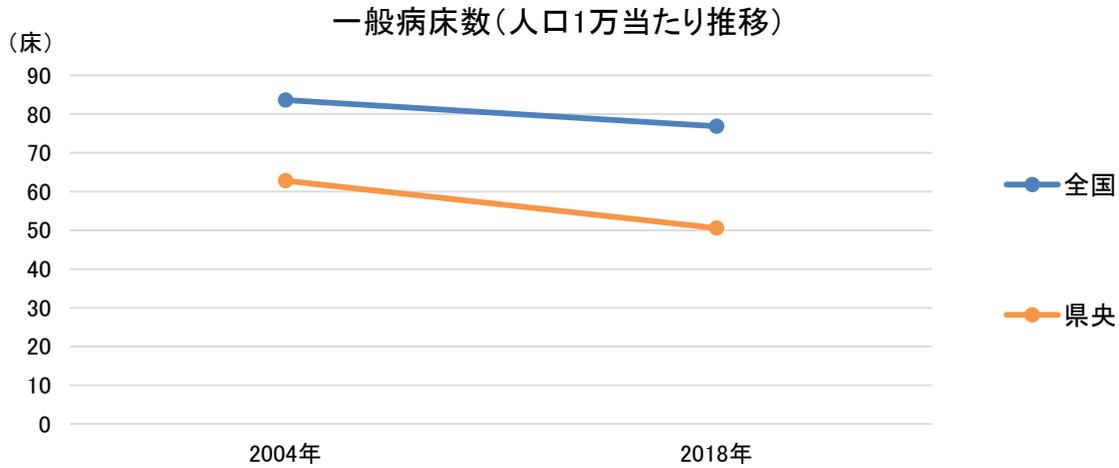
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が976人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に1,181人(人口10万人当たり140人(全国平均245人)偏差値38)と、205人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



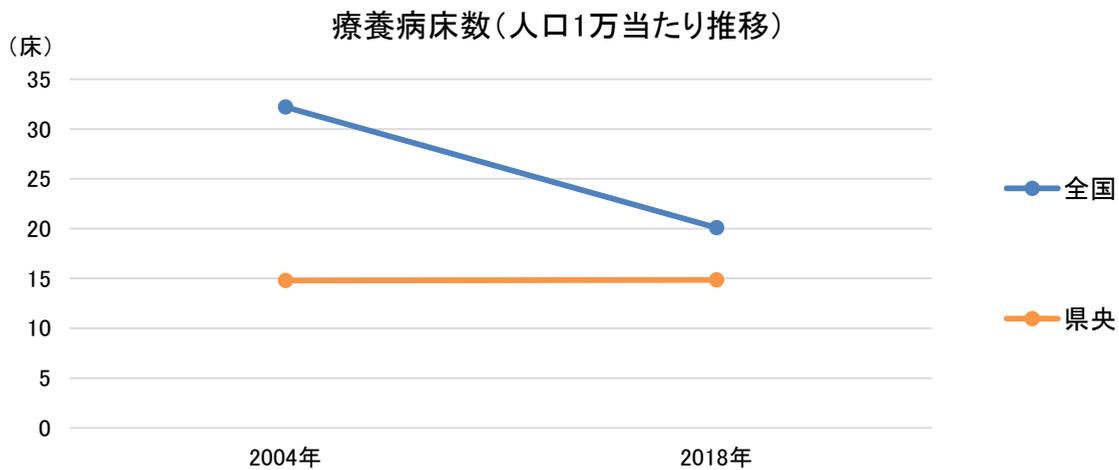
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,171床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に4,280床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、891床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



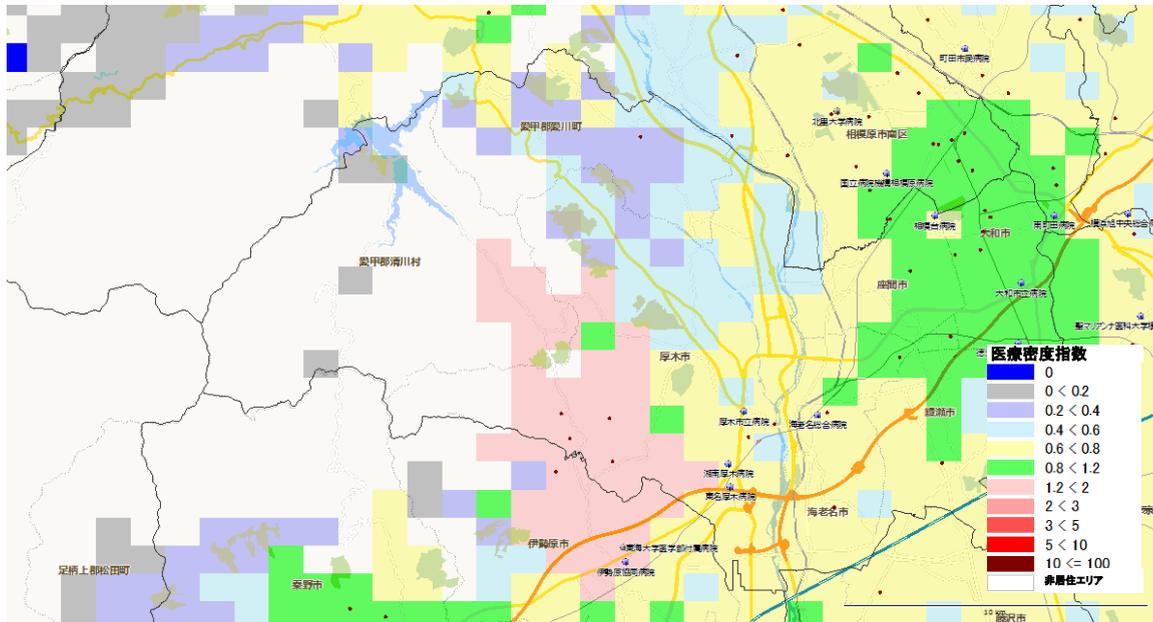
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が651床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に1,222床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、571床の増加、率にして88%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



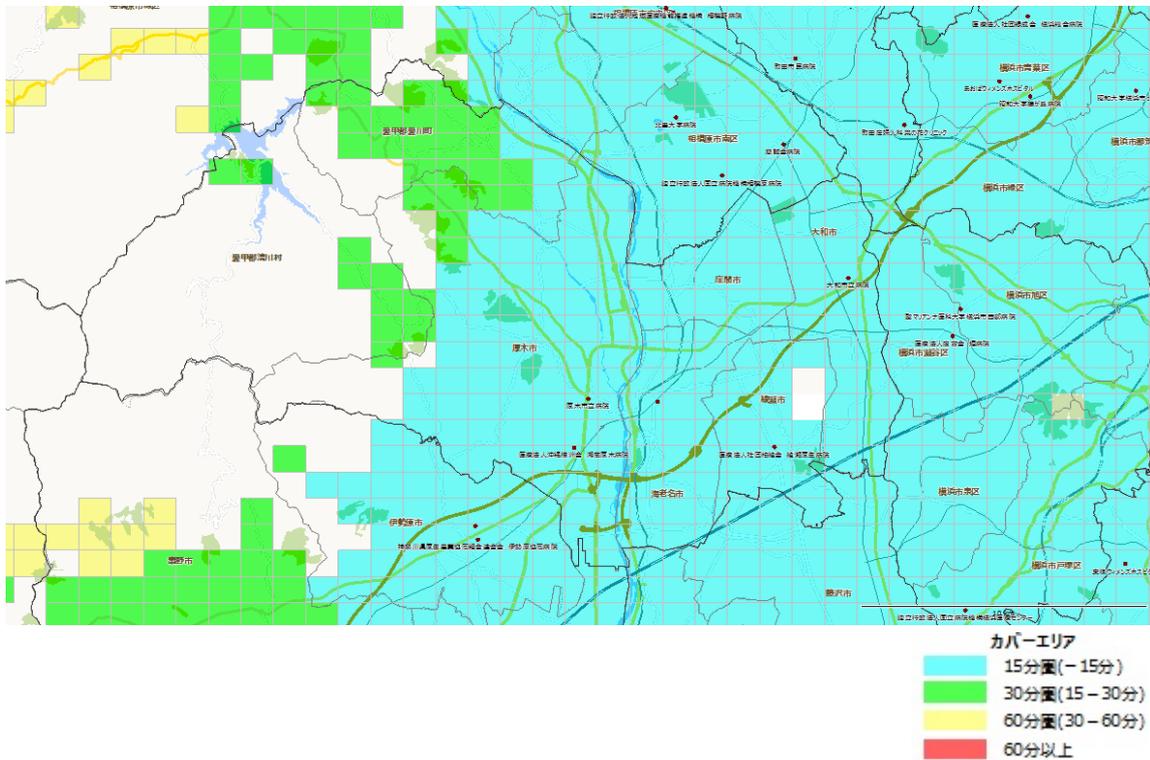
(県央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

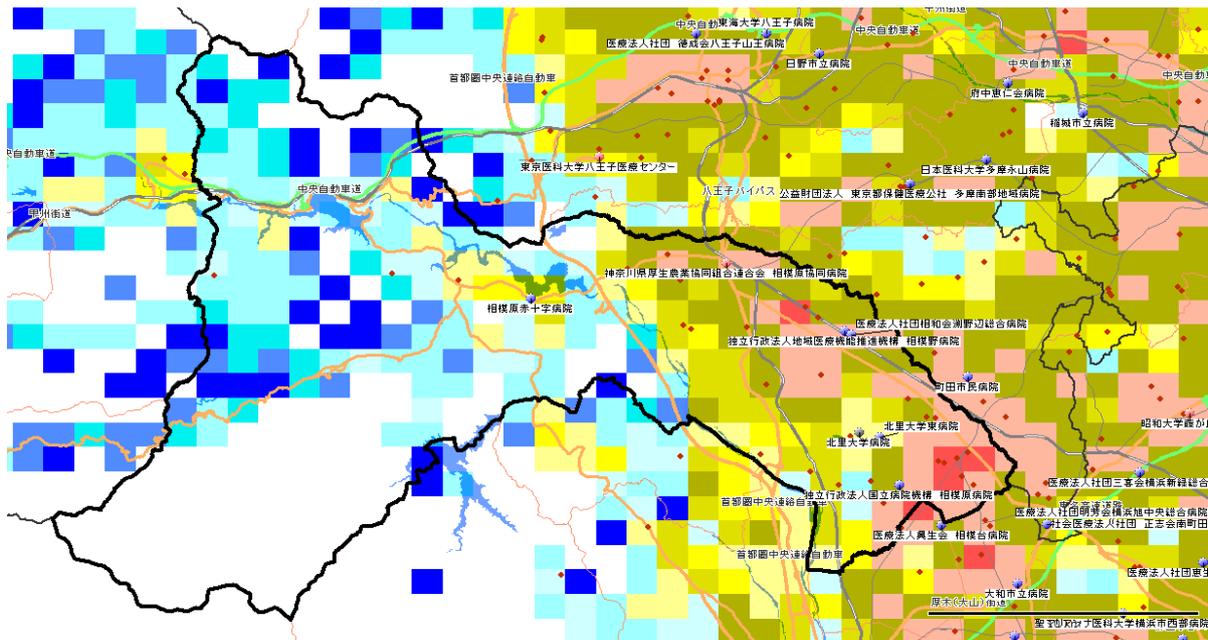


さがみはら 14-10. 相模原医療圏

構成市区町村 [緑区](#) [中央区](#) [南区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群
- 一般病院

(相模原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 相模原(相模原市緑区)は、総人口約721千人(2015年)、面積329km²、人口密度は2,193人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 相模原の総人口は2025年に711千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に658千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の73千人が、2025年にかけて121千人へと増加し(2015年比+66%)、2040年には131千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 相模原の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値43)、介護給付費は222千円(偏差値40)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 相模原の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.82で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数50、診療所医師数38)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。相模原には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHQ相模原病院(Ⅲ群)、相模原協同病院(Ⅲ群)、北里大学病院(I群・救命)、500例以上のJCHO相模野病院(Ⅲ群)、瀏野辺総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 相模原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,674人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,130床(偏差値57)、高齢者住宅等が4,544床(偏差値61)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,468人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム61、軽費ホーム46、グループホーム57、サ高住53である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,009人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(相模原医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

相模原医療圏の総人口は、2005年701,630人が、2015年に720,780人と3%増加し、2025年の人口が710,539人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

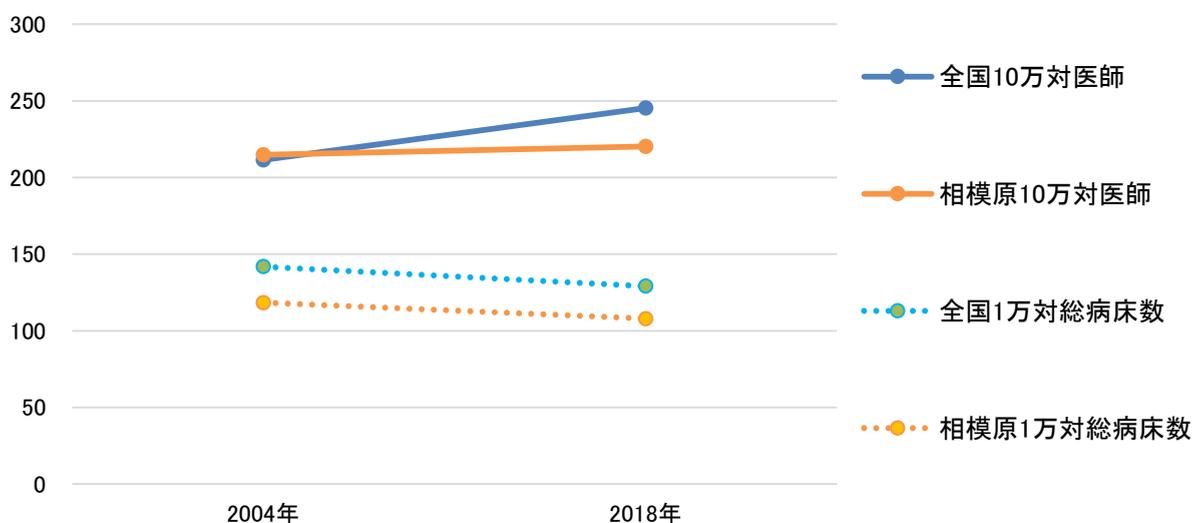
2004年の病院数が35(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に37(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、14年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が360(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2018年に420(人口10万人当たり58診療所(全国平均80)偏差値38)と、60診療所が増加した。

2004年の総病床数が8,304床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2018年に7,782床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、522床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,507人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に1,588人(人口10万人当たり220人(全国平均245人)偏差値47)と、81人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

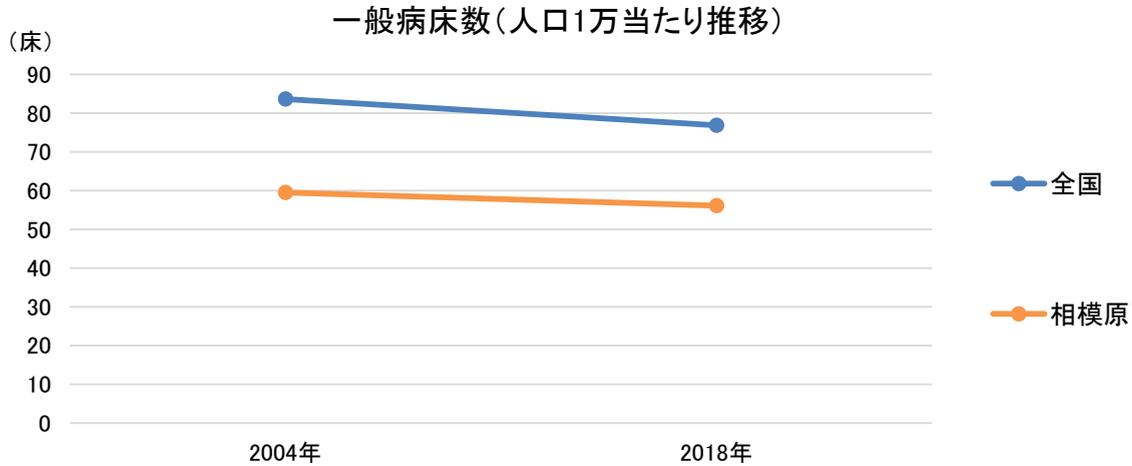
人口当たり医師数・総病床数の推移



14.神奈川県(2019年版)

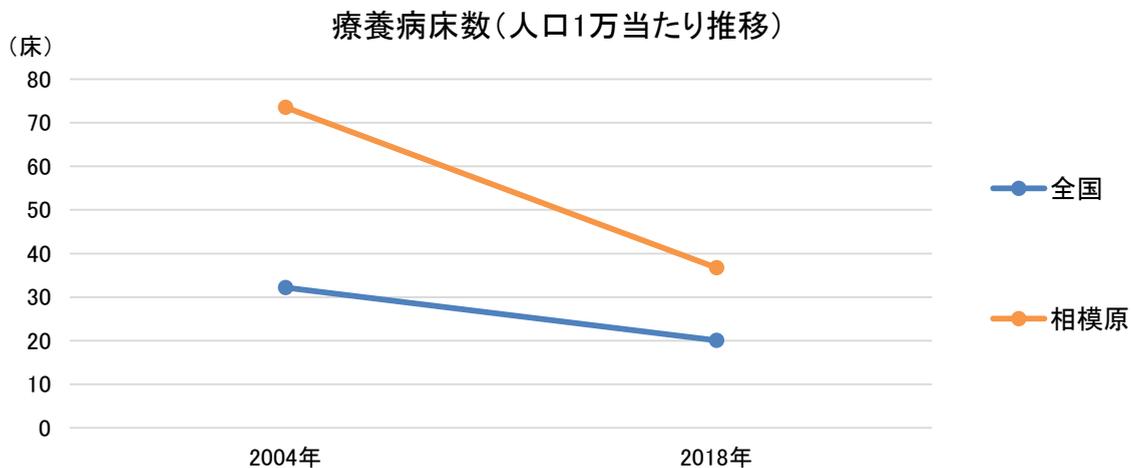
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,175床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値41)であったが、2018年に4,045床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、130床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



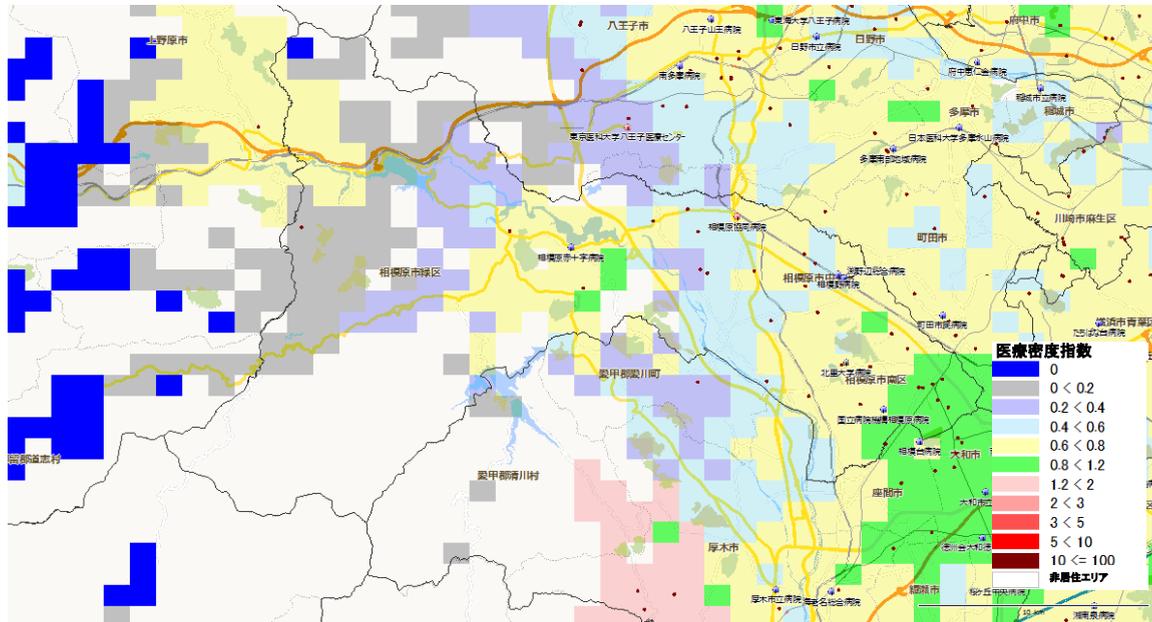
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,923床(75歳以上1,000人当たり74(全国平均32)偏差値73)であったが、2018年に2,702床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、221床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



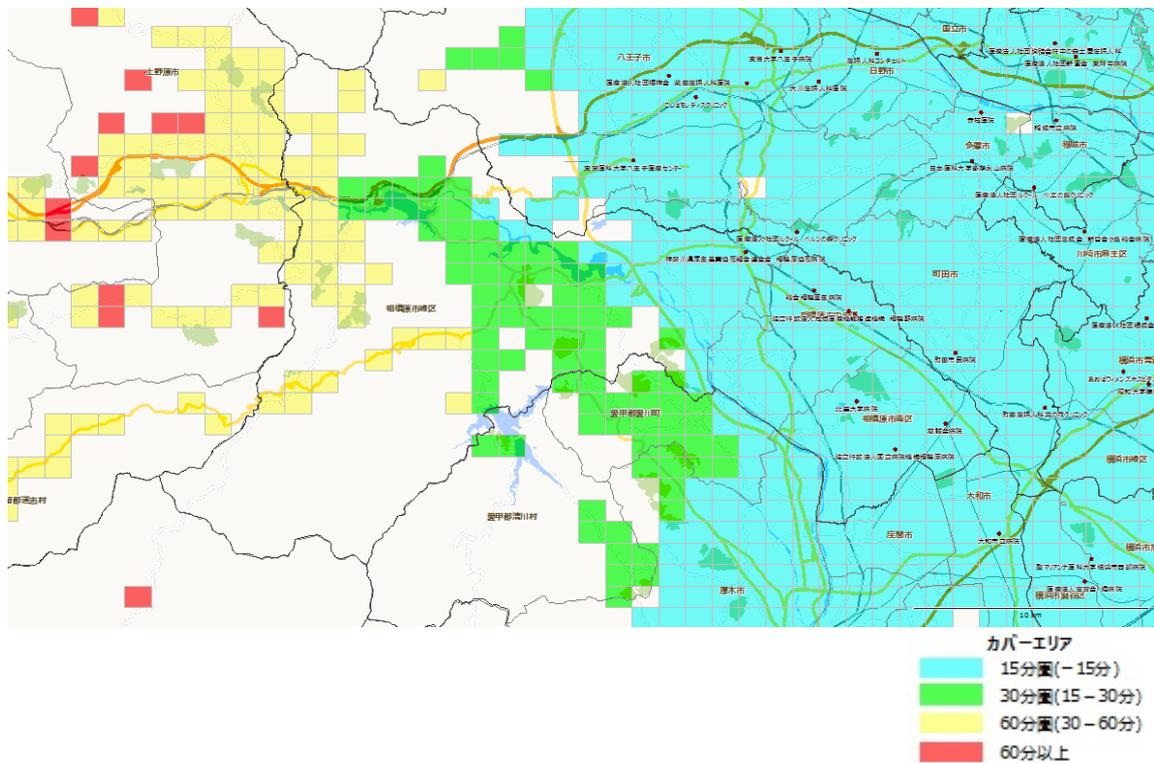
(相模原医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

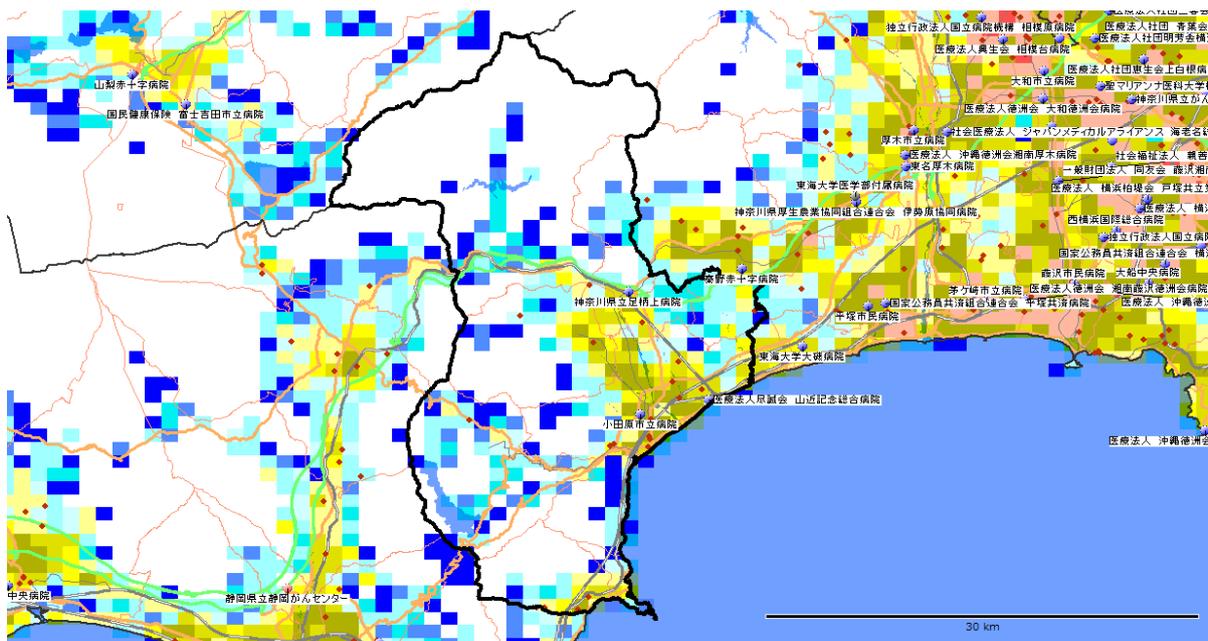


14-11. けんせい 県西医療圏

構成市区町村 [小田原市](#) [南足柄市](#) [中井町](#) [大井町](#)
[松田町](#) [山北町](#) [開成町](#) [箱根町](#)
[真鶴町](#) [湯河原町](#)

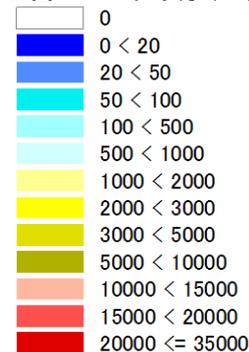
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県西(小田原市)は、総人口約347千人(2015年)、面積635km²、人口密度は547人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に320千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に268千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて65千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には63千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値53)、介護給付費は221千円(偏差値40)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小田原市立病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の山近記念総合病院(Ⅲ群)、神奈川県立足柄上病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,763人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,690床(偏差値45)、高齢者住宅等が3,073床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,736人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム71、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、397人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(県西医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年361,105人が、2015年に347,157人と4%減少し、2025年の人口が319,729人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

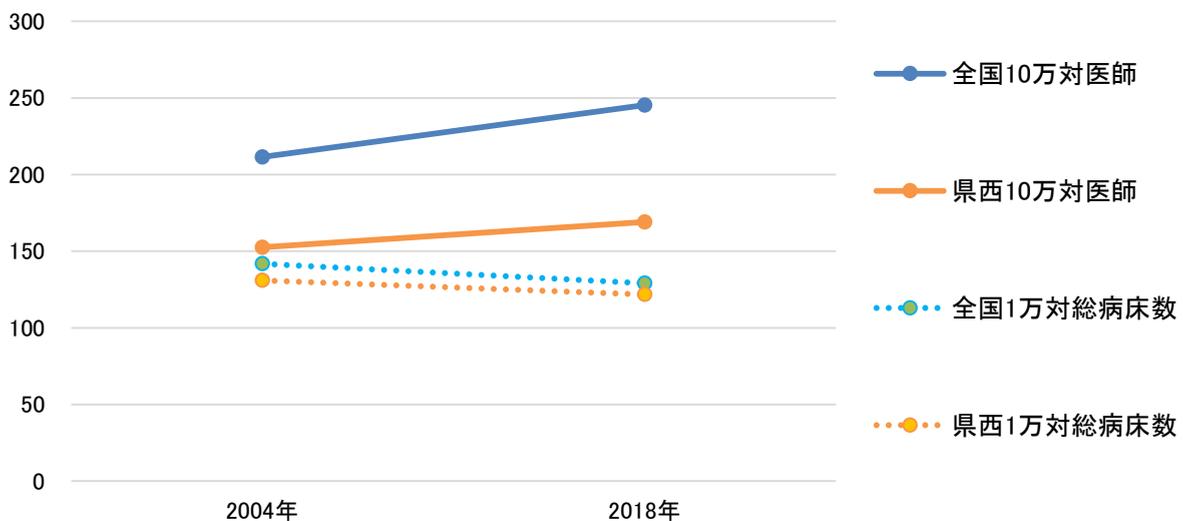
2004年の病院数が25(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に23(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に261(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、10診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,732床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に4,228床(人口1万人当たり122(全国平均129)偏差値49)と、504床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

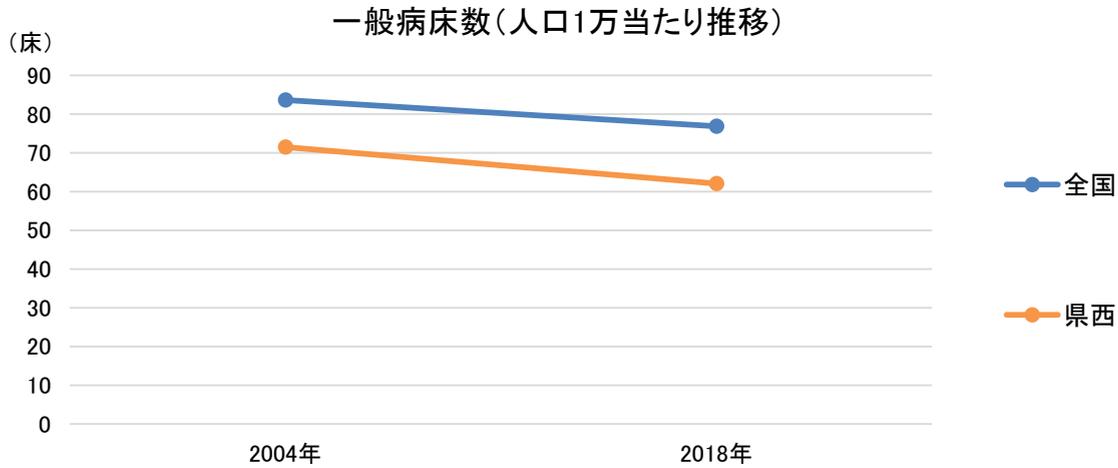
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が551人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に587人(人口10万人当たり169人(全国平均245人)偏差値42)と、36人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



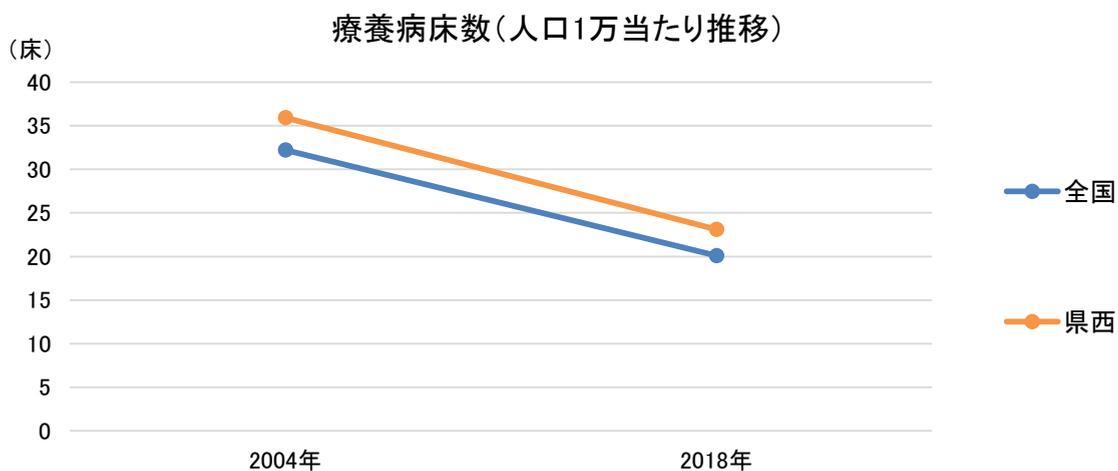
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,583床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に2,154床(人口1万人当たり62(全国平均77)偏差値44)と、429床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



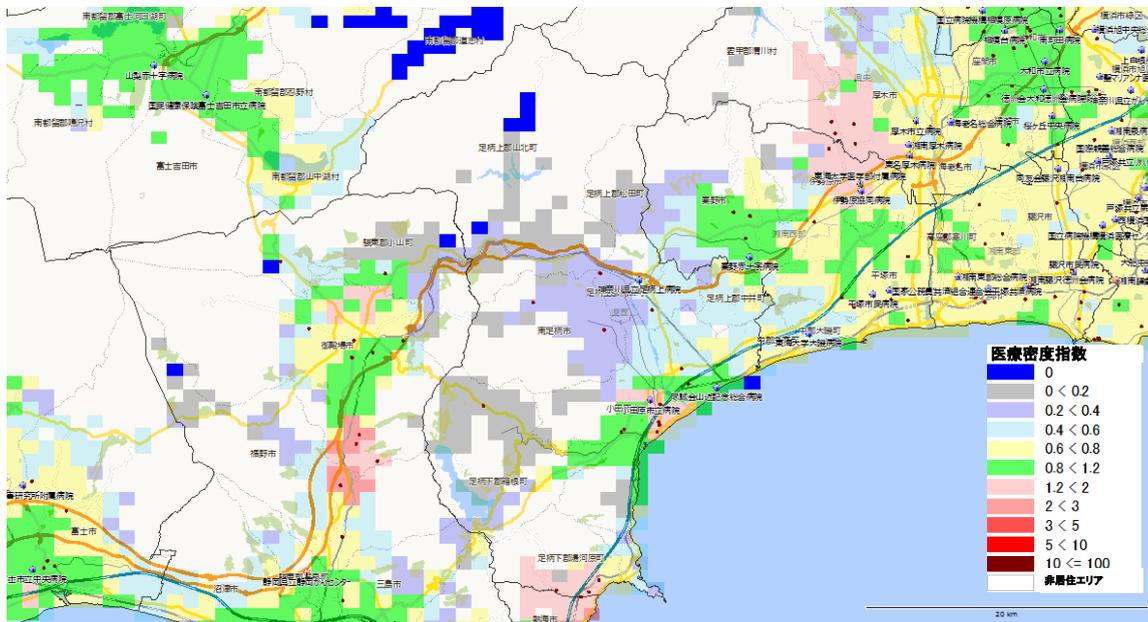
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,171床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2018年に1,119床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値53)と、52床の減少、率にして4%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(県西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表14-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-11-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

